野間準次郎（高知）　◎吉田幸夫（高知）
渡邊勘三郎（金澤）　高橋政寛（金澤）
地主金治（高知）　奥岡源藏（小樽）
横谷英太郎（金澤）　齋藤庄三（金澤）
末廣計一（金澤）　丸山金男（高知）
吉野喜文（金澤）　栗原末雄（金澤）
野澤靜男（高知）　茂木敬吉（金澤）

大正二年十月六日卒業

服見門藏（今治）

大正三年七月一日卒業

大久保敏行（高知）　安倉高德（高知）
石黒龜吉（金澤）　齋藤中三（高知）
小松德次郎（高知）　中川德次（高知）
◎鈴田政治（高知）　◎鈴木源右衛門（高知）
笠井通義（静岡）　堀内千代雄（小樽）
原半男（高知）　緑米誠（金澤）

大正四年七月六日卒業

本岡智（高知）　小林義雄（高知）
◎登島重二（高知）　坂部靜夫（高知）
石田勝（金澤）　◎太坪日出男（高知）
◎山田範治（高知）　淵田榮央（高知）
木村又治（高知）　豊井改作（高知）
守谷八五郎（高知）　鶴撃屋泰三（高知）
須藤繁蔵（高知）　豊井貴三郎（今治）

大正五年七月六日卒業

◎宮崎延造（金澤）　磯邊其朝（金澤）
立花仁吉（金澤）　永井雄毅（金澤）
鈴木龍雄（金澤）　松村申雄（金澤）
杉山儀介（金澤）　松崎朝治（高知）
山田敬助（高知）　森下文作（金澤）
路合盛（高知）

◎山田英一（金澤）　渡邊市太郎（高知）
中村一俊（高知）　甘利遠藏（金澤）
小林勝索（高知）　大村其彦（金澤）
重田勇助（金澤）　志賀保三（金澤）
用原信明（金澤）　北野友之（高知）

大正五年七月六日卒業

松本貫明（金澤）　◎中島佐一（金澤）
小中勇作（高知）　◎清水剛（高知）
富田英吉（金澤）　原川康（高知）
加藤檢造（高知）　鳴海淳（高知）
笠木保吉（神奈川）　森衛（高知）

大正六年七月六日卒業

石野友次郎（高知）　◎大井一郎（金澤）
高橋繁郎（金澤）　竹村幸（金澤）
高橋勝衛（金澤）　大島一（金澤）
江原哲二（高知）　秋野儀一郎（高知）
小河原義雄（高知）　柏崎助九郎（高知）
大柳善一（高知）

栗原幹衛（金澤）　永井忠兵衛（高知）
福田昇平（金澤）　辰野小四郎（金澤）
齋藤英庫（金澤）　清野楠三（金澤）
阿部宣治（高知）　豊川次郎（金澤）
熊谷靜吉（北海道）

◎柴田和三郎（金澤）　山田耕三（金澤）
小川朝知三（金澤）　竹内鎮三男（金澤）
飯島一郎（金澤）　神谷岩造（金澤）
清江五月（金澤）　尾内庄吉郎（高知）
山口豫時（福井）

小坂田安夫（高知）
◎伊藤英之助（金澤）　大坊政源（高知）
小松英雄（金澤）　青木金作（金澤）
富山作治（高知）　赤川文郎（高知）
武藤政太（高知）　相川豐次郎（金澤）

土木專門部卒業生

大正七年七月六日卒業

常盤　謙一（建築）　高田金十郎（建築）
本間　昌吉（建築）　山田　正二（建築）
飯具　申昌（建築）　辻　政太郎（建築）
小里　珍次（建築）　細江　直矢（建築）
角田　祥太郎（建築）　◎日笠　健二（建築）
小關　勞德（建築）

大正八年六月二十八日卒業

東　俊（建築）　深谷　辰治（建築）
畠山　英三郎（建築）　保科　實雄（建築）
親浦　一萬（建築）　川上　敬治（建築）
森　冥介（建築）　塚石　盛始（建築）
奥津　五郎（建築）　佐藤　勝平（建築）
白木　左郎夫（建築）　參田　高次郎（建築）
高橋　繪（建築）　吉田　益三（建築）

星　正巳（建築）　◎小田島　健三（建築）
大久保　正治（建築）　花嶋　德藏（大正）
細田　巳次郎（建築）　黑河　重吉（建築）
石川　勝治（建築）　安岡　英男（建築）
笹部　喜由（建築）　吉谷　一次（建築）

綿地　松藏（建築）　福岡　蔚（建築）
池田　茂政（建築）　◎井上　誠一（建築）
小松　毓平（建築）　黑崎　貞治（建築）
永井　正路（建築）　中島　精一（建築）
飯田　來吉（建築）　清水　熊雄（建築）
參山　雄次郎（建築）　小峯　雄吉（建築）

大正九年六月二十九日卒業

安藤　太郎（建築）　青柳　長節（建築）
藤田　吉克（建築）　堀田　欽（建築）
牧之瀨　秀持（建築）　成田　利夫（建築）
瀨川　一雄（建築）　關口　省吾（建築）
後藤　六太郎（建築）　山田　金三郎（建築）

大正十年三月二十六日卒業

◎淺利　雄一（建築）　千田　靜郎（建築）
服部　成康（建築）　原　忠雄（建築）
松村　丈夫（建築）　諸井　義男（建築）
野內　安治（建築）　岡田　民一郎（建築）
來迎　二郎（建築）　領賀　芳政（建築）
谷口　久雄（建築）　寺田　菊太郎（建築）
有近　保太郎（建築）　後部　隆志（建築）

大正十年六月三日卒業

佐藤　英吉（建築）　花里　馨（建築）
伊東　結雄（建築）　小笠原　安（建築）
武原　秀雄（建築）　◎堀顯　光衛（建築）

後藤　安美（大正）　原　三郎（建築）
神尾　重雄（建築）　金澤　清次郎（建築）
中尾　博明（建築）　西田　雅士（大正）
岡本　昇（建築）　島田　幸作（建築）
鈴木　誠二（建築）　高氏　盛（建築）
後久地　政德（建築）　富多　傳吾（建築）
後部　武（建築）

大正十一年三月廿三日卒業

阿部忠作（北海）　藤田勝吉（北海）
林　保雄（静岡）　本多俊夫（愛知）
砂　晴（富山）　金澤吉次郎（大阪）
三成慶（北海）　表　眞（愛知）
大島左門（福岡）　設井將三（愛知）
澁田秀造（北海）　田中　章（埼玉）
張國賢（愛知）　毛島程（愛知）

大正十一年四月二十日卒業

古林澤一（愛知）　清水涼作（岩手）

大正十一年五月六日卒業

細田治次（愛知）　坂本昇（愛知）

大正十二年三月廿四日卒業

藤田正美（愛知）　古田泰介（愛知）

服部正吾（北海）　林　政雄（山形）
本多哲治（愛知）　五十嵐茂男（愛知）
柏原清助（富山）　菊地三吉（岩手）
中村初次（福岡）　小澤　澄（愛知）
佐々木喬樹（愛知）　宍戸忠雄（富山）
戸谷信雄（愛知）　山田樹一（大阪）

萩原次郎（愛知）

花田次郎七（福岡）

武藤弘喜（福井）　市川丈夫（愛知）
石原　拓（北海）　岩崎　博（愛知）
井勢重次（富山）　・鉾田榮太郎（北海）
中村卓郎（福井）　成瀬利次（静岡）
尾崎一郎（山形）　◎酒井　澄（愛知）
◎玉橋小太郎（愛知）　山本茂雄（福井）
山崎一明（愛知）　横町　綱（石川）

大正十二年三月三十一日卒業

丸浦忠直（静岡）

大正十三年三月二十七日卒業

藤田健次（北海）　◎深谷三郎（秋田）
岩上潤次（千葉）　加藤正人（北海）
神指武史（愛知）　益端　要（福島）
中野幸太郎（愛知）　清水武夫（富山）
高橋八十八（福井）　辻岡教師（愛知）
山下六三郎（愛知）　山内和三郎（山形）

市川芳次（福井）　伊勢谷清三（青森）
如来照明（愛知）　神成久夫（青森）
三浦義雄（愛知）　内藤道之助（愛知）
西澤貞忠（長野）　折坂理五郎（愛知）
佐藤吉藏（山形）　◎角田民郎（福岡）
山岡登一（愛知）　矢野論雄男（石川）
◎飯塚　恩（愛知）

原　行雄（愛知）　堀田　博（愛知）
桂田寛三郎（北海）　北岡貞臣（北海）
松田博文（静岡）　宮澤一郎（愛知）
藤田重行（長野）　高田　實（北海）
堤　友之助（北海）　山本正雄（愛知）
◎曾昭璞（愛知）

大正十三年四月十八日卒業

中村吉秋（愛媛）　田代吉榮（愛媛）

吉崎宇右衛門（福島）

大正十三年四月二十一日卒業

齊藤敎重（岩手）

大正十四年三月二十五日卒業

安齊榮（福島）　坂倉傳吉（宮城）
古尾谷儀太郎（愛媛）　砂野得一（愛媛）
井關延雄（愛媛）　土井勝雄（愛媛）
小柳誠（福井）　篠谷晉吉（福井）
松浦辰雄（福井）　國村靜三（福井）
庄司儀夫（福島）　田村順武（愛媛）
上田恒太郎（福井）　山田壬三（愛媛）

藤井清（愛媛）　藤井種藏（靜岡）
日野龜雄（長野）　岩本徹（石川）
◎木村誠一（北海）　小海肇（福島）
國澤舜二（愛媛）　增田通尙（愛媛）
小野信太郎（北海）　佐藤誠（岩手）
田中武次（北海）　富本巍夫（愛媛）

大正十五年三月三十一日卒業

秋山組一（香川）　美藤三郎（香川）
五井辰雄（北海）　堀川力（北海）
菅野秀夫（愛媛）　川島善弐（福島）
三島武（北海）　溝田夫雄（福島）
小川順一（宮城）　岡本增成（北海）
齋藤秀雄（福島）　佐藤守（長野）
武內一夫（愛媛）　辻宏（北海）
山田澄（福井）　張文興（支那）

江尻唯一（福島）　蛸木義松（北海）
板垣隆義（宮城）　神戶浩（北海）
小林千代雄（愛媛）　松井勝利（長野）
大野秀雄（福島）　西巍（北海）
大住毅（北海）　小山他二男（愛媛）
七條雅男（北海）　◎高松旭一（北海）
渡部義雄（愛媛）　渡會吉郎（福島）

昭和二年三月三十一日卒業

安部廣志（宮城）　馬場一夫（香川）
桑田光雄（福島）　勝山肝（北海）
紺谷剛一（宮城）　三浦榮太郎（長野）
大加主稅（福井）　岡村敏樹（福井）
小澤善市（福島）　齋藤雄三郎（北海）
藤村英夫（長野）　白根治一（宮城）
高木時一（北海）　竹村治一（宮城）
由縣一雄（神奈川）　吉田節（宮城）

濱本喜一（香川）
岸榮（北海）
森田健造（北海）
大塚榮（愛媛）
七條一郎（北海）
高橋香（北海）
赤原勝二（香川）

古田信孝（宮城）
劍持政雄（神奈川）
宮本植三（千葉）
大竹正美（福島）
酒井一（北海）
鈴木英夫（長野）
辻口淺吉（北海）

昭和三年三月三十一日卒業

青木　堅司（建築）　青山　正雄（建築）　原田　國夫（建築）
畑　　覺藏（建築）　松本　重之助（建築）　宮下　武雄（建築）
奈良　　清（建築）　長澤　順一郎（建築）　大島　長道（建築）
坂本　雅夫（建築）　澤田　詮亮（建築）　鈴木　篤義（建築）
◎竹内　正朝（建築）　戸畑　節夫（建築）　矢嶋　澄策（建築）
矢代　喜代一（建築）　吉田　三男（建築）

昭和四年三月三十一日卒業

藤井　政義（建築）　花田　勝知（建築）　岩野　巖（建築）
加藤　德雄（建築）　松本　喜三郎（建築）　三浦　俊一（建築）
宮島　角五郎（建築）　中尾　嘉明（建築）　和田　悟一（建築）
尾藤　三郎（建築）　齋藤　規一（建築）　渡谷　勝男（建築）
島本　　板（建築）　庄司　幸治（建築）　高島　幸一（建築）
渡谷　正夫（建築）　山口　武夫（建築）　米納津一郎（建築）
由良　　勝（建築）

有賀　晴夫（建築）　橋本　正利（建築）　岩野　巖（建築）
三澤　芳雄（建築）　松浦　一二三（建築）　三浦　俊一（建築）
小川　賢吉（建築）　西村　政次郎（建築）　和田　悟一（建築）
島津　一郎（建築）　關口　保（建築）　渡谷　勝男（建築）
山田　勳（建築）　庄司　定男（建築）　高島　幸一（建築）
山崎　長作（建築）　矢嶋　澄策（建築）

水產學科卒業生

第一期（明治四十三年七月八日卒業）

漁撈部

野島　休五（漁）　村山　佐太郎（漁）　井山　丹二（漁）
◎高橋　周平（漁）　◎高橋　二郎（漁）　半田　芳男（漁）
熊澤　治次（漁）　横山　登志丸（漁）　菅沼　九一（漁）　（名古屋市）　鵜合　峰夫（漁）　保崎　義次（漁）　安西　清（漁）
登田　吉次（漁）　◎中村　令（漁）　内藤　春吉（漁）　吉原　七司（漁）　奥井　孝太郎（漁）　青木　實（漁）
鈴木　新（漁）　横田　孝夫（漁）　有田　勝男（漁）　鶴川　朝治（漁）　兒玉　誠（漁）
武田　正信（漁）　關　勝治（漁）

製造部

古賀　精一（製）　井野　二郎（製）
岡崎　忠三郎（製）　石川　久治（製）
高橋　仁助（製）　◎河田　秀雄（製）
舟橋　清（製）　長沼　澄太（製）

坂井　久二（北海）　金内忠太郎（福井）
田中清三郎（栃木）　宮内佐一（栃木）
會田　泰（埼玉）　宮城　敬（北海）
◎鯵坂長三郎（北海）　笹谷留太郎（北海）

第二期（明治四十四年七月八日卒業）

漁撈部

工藤慶策（岩手）　鹽井知之（福井）
猿口井作（福岡）　◎栗田純明（北海）
山村　治（福井）　齋藤忠雄（岩手）
中村榮藏（岩手）

養殖部

小久保清治（埼玉）　甲斐賓八郎（福本）
佐藤謹一（福島）　久留島新右衛門（香川）

製造部

宇井丈兒（靜岡）　星慶藏（福島）
◎笠原義朗（長野）　三浦金太夫（宮城）
吉村信一（福井）　堀月秀二（福井）
◎大田三郎（福井）　吉田健夫（福井）

（卒業證書授與）
堀重三（岩手）　八巻宗三（宮城）
矢橋厚一郎（秋田）　◎平賀享一（福井）
（卒業證書授與）小松武五郎（宮城）　岡本廣雄（長野）
阿妻忠精（北海）

◎中村元治（卒業證書授與）　◎各　快洞（福井）
馬場忠夫（岡山）　林　金作（千葉）
田中秋四郎（長野）　◎板倉貞雄（六年）

佐藤忠男（東京）　鵜飼七郎（京都）
多久淳輔（福島）

富田朝一（北海）　飯間本一（北海）
◎中澤銀三（長野）　吉濱定吉（兵庫）
綱井石太郎（北海）　◎長沼寧文（廣島）
齊藤寅二（北海）

第三期（明治四十五年七月六日卒業）

漁撈部

高野勝（福島）　佐藤源助（宮城）
山口盛男（宮城）　菅　銀三（廣島）
東平光（廣島）　唐笠　勝（千葉）
平間榮四郎（宮城）　◎大田義之助（宮城）
◎澤田三次郎（宮城）　高梁威夫（福島）

養殖部

◎山口元申（北海）　渡邊宗重（福島）
佐藤次郎吉（福井）　梶浦榮行（福島）

製造部

村林莊平（廣島）　（卒業證書授與）八木澤繁治（青森）
大迫　敬（福島）　◎大石久夫（福島）
河西次男（福島）　家入芳雄（福島）
辻　義一（福島）　村井順造（福井）

第四期（大正二年七月五日卒業）

漁撈部

小西捨吉（福井）
千石吉雄（宮城）
（卒業證書授與）德永源治（山口）
◎加澤常之助（福島）
芳賀櫻六（宮城）

戸澤逸郎（青森）
宮岡善悟（福岡）

◎森川喜作（福島）
山内勝夫（福島）
野村鎗輔（北海）

七田東吉（北海）
菊地英二（宮城）
◎山尾和太郎（長野）
江頭德六郎（長野）
河田喜一良（宮城）

片岡　喜徳（造船）　　桑高　英男（造船）
久野（旧姓小野）信夫（製造）　　瀬尾竹次郎（造船）
◎柴田　謙二（造船）　　有馬鐵之輔（造船）

製　鐵　部

野村　勝（鑄工）　　千葉　茂松（鑄造）
中島　鐵雄（鑄造）　　猪野　清（鑄造）

製　造　部

森岡　捷珠（鑄造）　　佐藤　徳吉（鑄造）
◎肥後　馥（造船）　　松原（旧姓小野）貞行（鑄造）
秋見　大二（鑄造）　　松野　篤太（造船）

第五期（大正三年七月一日卒業）

造　船　部

北林　邦之助（造船）　　岡田　藤兵衛（造船）
◎鈴木　季男（造船）　　丸山　右三次（造船）
伊藤　齊（製造）　　大塚平四郎（鑄造）
太田　正之（鑄造）　　渡邊　東一（造船）
藤村　宣（鑄造）

田口　二郎（造船）　　加藤　捷五郎（鑄造）
大森　佳市山（造船）　　船田　榮治（造船）

製　鐵　部

赤根　金太郎（鑄造）　　岩永（旧姓猪野）諒吉（鑄造）
永島　重吉（造船）　　橋本　五郎（木型）

製　造　部

富久　正名（造船）　　本澤（旧姓川野）孝次（製造）
來栖　大助（造船）　　川野　昭（造船）

（旧姓小野）崇作（鑄造）　　金子　智武（鑄造）
廣瀬（旧姓小野）賢松（造船）　　中西　治吉郎（鑄造）
深江　德爾（鑄造）　　北野　喜多治（造船）
桑田　喜一（造船）　　下村　正夫（造船）

製　鐵　部

飛島　貫治（鑄造）　　岸野　登（鑄造）
辻村　吉三郎（鑄造）

製　造　部

丸山　文夫（鑄造）　　◎八木　貞一郎（造船）
山崎　金三郎（鑄造）　　布施　重吉（造船）
根岸　留吉（鑄造）　　吉川　吉男（鑄造）
八木　光二郎（鑄造）　　黒崎　健藏（鑄造）

大正三年九月十一日卒業

造　船　部

（旧姓大野）秒村　秀雄（造船）　　山本　清内（造船）

第六期（大正四年七月六日卒業）

造　船　部

（旧姓村井）岸田　志眞（造船）
◎土屋　溫眞（造船）
岩男　文夫（木型）
江田　武雄（造船）
片岡　雅人（造船）
長　豊治（造船）

吉越　義秀（造船）　　（旧姓廣戸）信岡郎（造船）

北澤　文作（鑄造）　　◎吉本　富太郎（造船）
河内　專三（造船）　　鈴木　保（造船）
小池　雅幸（造船）　　高杉　勉（造船）
安達　智夫（造船）　　◎中川　萬吉（造船）

新 華 族

大 島 成 治（男爵）　石 井 久 治（男爵）　今 城 誠 之（男爵）　藤 原 正（男爵）　大 沢 武 夫（男爵）　大 沢 武 夫（男爵）

新 爵 族

北 畠 治 房（男爵）　中 野 武 営（男爵）　今 出 川 公 静（侯爵）　門 脇 重 綱（侯爵）　大 谷 尊 由（侯爵）

大正四年六月十八日爵記

新 貴 族

熊 井 敏 治（男爵）

新 位 族

熊 野 直 木（従五）

大正四年十一月四日爵記

新 勲 族

三 谷 元 治（男爵）　山 口 治 郎（男爵）

新 勲 族

上 原 勇 作（元帥）　大 山 巌（元帥）　◎荻 井 泰 治（男爵）　加 藤 定 吉（男爵）

木 村 雅 次（男爵）　寺 内 正 毅（元帥）　黒 木 為 楨（男爵）　岡 部 長 職（男爵）

鈴 木 荘 六（男爵）　児 玉 源 太 郎（元帥）　井 上 馨（元帥）　岡 沢 精（男爵）

新 華 族

高 木 兼 寛（男爵）　田 健 治 郎（男爵）　井 上 勝 之 助（侯爵）　石 井 国 吉（男爵）

新 爵 族

大 木 遠 吉（男爵）　五 十 嵐 敬 喜（男爵）　大 鳥 圭 介（男爵）　小 幡 酉 吉（男爵）

大正五年九月二十二日爵記

新 貴 族

藤 原 銀 次 郎（男爵）

新 位 族

日 比 翁 助（従五）　児 玉 秀 雄（従五）　岡 三 郎（従五）

大正五年六月二十八日爵記

新 勲 族

木村四郎（岩野）　横井波治（岩野）

大正五年十一月二十一日卒業

製造部

桐山百三（愛媛）

第八期（大正六年七月六日卒業）

漁撈部

武市和夫（福島）　伊藤謙治（岩手）

養殖部

神崎陽吉（福島）　田中林蔵（岩手）

一戸次郎（岩手）　齋藤芳可（福島）

製造部

立松秀雪（愛知）　井上和吉（大分）

大河原彰次郎（秋田）　鎗木純次郎（福島）

鎗田二郎（福島）　蜂谷一輝（福島）

大正六年十月十二日卒業

漁撈部

最入七郎（秋田）　石橋操（福島）

吉田市右衛門（福島）　◎杉山金蔵（岩手）

◎加藤秀治（岩手）

松平鈴人（愛知）

尾崎泉（千葉）　野口静（福島）

矢越博（岩手）　日田義雄（岩手）

伊藤春松（愛知）　佐々木猶（愛知）

城基（福島）

大正六年十一月七日卒業

製造部

小原弘道（福井）　中野静夫（福島）

兒玉政治（大分）　齋藤謙三（岩手）

水産專門部卒業生

第九期（大正七年七月六日卒業）

漁撈部

宇田川吉郎（愛知）　熊久保康正（岩手）

養殖部

高田幸二（三重）

製造部

太田滋（愛知）　（秋田縣）桑田清一（岩手）

江口幹太（千葉）　服部直也（岩手）

渡邊逸郎（岩手）　遠藤晴作（岩手）

米井宗治（岩手）　鈴尾郡（岩手）

林田孫一（岩手）　田中昌作（岩手）

小松佐一（岩手）　◎遠川定臣（大阪）

◎羽田新一（三重）　谷脇重助（和歌山）

平野太郎（三重）　菅原憲吾（岩手）

濱崎榮利（和歌山）　奈良一男（岩手）

大正七年七月十三日卒業

大正九年四月六日卒業

漁撈科

◎上田芳一（福井）

大正九年六月十七日卒業

鍾谷文雄（福井）

大正九年九月六日卒業

芝原定雄（福岡縣）　中島結治（佐賀）

大正九年九月六日卒業

製造科

◎竹谷高次（愛媛）　◎山本龍二（香川）

第十二期（大正十年三月三十一日卒業）

漁撈科

◎佐藤虎之助（岩手）　大西康作（香川）

板崎竹彥（愛知）　富澤憲（愛媛）

進藤何（青森）　三田村茂樹（香川縣）

鉾立勇（福岡縣）　大澤威雄（石川）

養殖科

◎井出重男（靜岡）　牧野惟繁（高知縣）

山口榮三郎（新潟）　桑原重右工門（長野）

伸野光吉（福島）　高橋要（宮城）

齋藤文雄（岩手）　佈野萬里（福岡）

近重久勝（富山）

赤井英吉（宮城）　北井彥次（北海）

若澤保二（宮城）　野中實已（愛媛）

製造科

中島藍（愛知）　須江忠次（佐賀）

若松三郎（宮城）　土肥貫（山形）

池田義彥（富山）　水上清（福岡）

相澤國忠（長野縣下伊那）　影浦規矩之丞（愛媛）

飯村實（愛知）　河口剛中（徳島）

大正十年五月二日卒業

養殖科

中島榮文（愛知）

大正十年五月二十四日卒業

製造科

駒澤昌（石川）

第十三期（大正十一年三月三十一日卒業）

漁撈科

池崎浦照（福岡縣）　井上一之（福井）

菊池耕仕（愛知）　熊倉重成（愛知）

三宅證雄（富山）

田中啓（福井）　景山忍（山口）

高橋鐵（秋田）

◎川西武重（長野縣下伊那）　新谷武衛（岩手）

小林篤一（愛知）　安西保之（秋田）

堀田武一（愛知）　山崎井義司（靜岡縣）

阿久津香（栃木）

笠松勞次郎（香川）

五十嵐武彥（福島）　藏井亮三郎（長野縣下伊那）

白田博吉（富山）

養　成　科

細井武雄（愛知）　菅野利助（愛知）
長峰千山（愛知）　赤五郎藏（愛知）

製　造　科

岡井正男（愛知）　大田房吉（愛知）
高橋亨（愛知）　富澤美光（福島）
廣木鈴太郎（愛知）　堀野貞藏（愛知）
村上玉揚（愛知）　森谷平八（愛知）
渡邊三郎（愛知）　渡邊榮（福島）

第十四期（大正十二年三月三十一日卒業）

造　船　科

上谷久吉（福井）　加藤海太郎（愛知）
坂本五郎（福井）　千葉敬一（愛知）

養　成　科

野田信俊（愛知）　松谷三郎（愛知）

製　造　科

赤坂（福井縣）　◎大久保親厚（愛知）　安齋甫（愛知）
江藤（愛知縣）正（愛知）　◎白橋長助（愛知）　伊藤金次郎（愛知）

鈴木誠志（愛知）　高橋圭永（愛知）

小林與作（福井）　志賀重雄（愛知）
野村常藏（福井）　花咲亮（愛知）
牧野十昇（愛知縣）　前田茂（愛知）
大野（愛知縣）鹿藏（愛知）　吉川梓二（愛知）

小林金次郎（愛知）　齋藤善市（愛知）
西村憲忠（愛知）　藤田昌平（愛知）

小野木安太郎（愛知）
鈴木幸一（愛知）

關根四郎（愛知）　高梨德太郎（愛知）
林精作（愛知）　森坂彌（愛知）
アラカール（インド）ナラヤナンナイヤー（愛知）　程島榮（愛知）

第十五期（大正十三年三月三十一日卒業）

造　船　科

荒井修平（愛知）　伊藤秀一（愛知）
木村彌榮治（愛知）　遠藤慶治（愛知）
松井潔（愛知）　◎張英林（愛知）

養　成　科

淺野光（愛知）　鐘田洋四郎（愛知）
富士武雄（愛知）　山田知治（愛知）

製　造　科

一色正豐（愛知）　遠藤榮三郎（愛知）
鈴木（愛知縣）勝（愛知）　中村誠二（愛知）
長田信一（愛知）　（愛知縣）那榮譽（愛知）

第十六期（大正十四年三月三十一日卒業）

造　船　科

中井保（愛知縣）　西村忠亮（愛知）
山本正（愛知）　吉田直光（愛知）
李安人（支那）

養　成　科

岩崎忠（愛知）　淺野行雄（愛知）
高橋伊二（愛知）　永井（愛知縣）歌次郎（愛知）

久藤文一（愛知）　龍島正一（愛知）

製　造　科

近藤讓（愛知）　角又雄（愛知）
星秋二（愛知）　水尾定太郎（愛知）

青山　勝（金澤）　原田静雄（金澤）
三村　司（金澤）　◎栗坂長左工門（金澤）
永松　三代（金澤）　中林　重陰（金澤）
都野榮太郎（金澤）　山下　鏡夫（金澤）

製　繪　科

◎朝秋　正夫（大阪）　藤田　文男（金澤）
木戸部静夫（金澤）　澤　賢藏（金澤）

製　繪　科

福島　晴華（福島）　船戸　正夫（金澤）
川本　德一（金澤）　宮尾　保（金澤）
太田　一郎（金澤）　土岐　基（金澤）
山田　寛（金澤）　越　琥（金澤）

大正十四年六月二十五日卒業

漁　撈　科

野澤　重一（金澤）

第十七期（大正十五年三月三十一日卒業）

漁　撈　科

川崎　毅一（金澤）　立花　正典（金澤）
高梨　晉吉（金澤）　掛綿　正男（金澤）
宮露都太郎（金澤）　◎三影　源之丞（金澤）
◎近江　彦次（金澤）　大西　勝（金澤）
佐藤　露華（金澤）　梅景　時太郎（金澤）
湯井　秀雄（金澤）

製　繪　科

金子　秀智（金澤）　古賀　秀雄（金澤）
白井　覺人（金澤）

製　繪　科

長谷川三郎（金澤）　林　秀美（金澤）
村田　喜一（金澤）　岡本　五十吾（金澤）
道上　時雄（金澤）　山田　次郎（金澤）
金　炤（金澤）

横江　真敏（金澤）　◎王　依　衷（金澤）

製　繪　科

青木　亨太郎（金澤）　伴　赤　男（金澤）
川越　其人（金澤）　中林　孝二郎（金澤）
山本　信（金澤）　保田　敏雄（金澤）

製　繪　科

赤岡　重次（金澤）　海老澤令治（金澤）
伊藤　千秋（金澤）　前田　貴男（金澤）
里舘　德吉（金澤）　高橋　半治郎（金澤）
飯田　昌（金澤）

大正十五年四月七日卒業

漁　撈　科

淺野　敏（金澤）　鹿原　博一（金澤）

製　繪　科

市川　忠雄（金澤）

第十八期（昭和二年三月三十一日卒業）

漁　撈　科

阿部　文治郎（金澤）　本間　久吉（金澤）
小堀　敬治（金澤）　栗栖　良馬（金澤）
畑　久三（金澤）　本田　清（金澤）
大島　榮市（金澤）　田村　正（金澤）
矢澤　喜義（金澤）

製　繪　科

平川　健三（金澤）　井上萬龜三（金澤）
宮田　三郎（金澤）　植野通秋（金澤）
高橋　宗助（金澤）　鍋谷　次郎（金澤）

石名坂恒吉（金澤）　大澤　親哉（金澤）

（令和四年四月一日施行）

養蠶科

長谷川　信（養蠶）　福島榮三郎（養蠶）
石川　清之（養蠶）　石岡武郎（養蠶）
鶴田敬治郎（養蠶）　松屋庄介（養蠶）

製絲科

淺沼鶴吉（製絲）　池田仁作（製絲）
丸田精作（製絲）　三田榮夫（製絲）
西田正男（製絲）　齋藤次雄（製絲）
武田宏（製絲）　豐口毅（製絲）
福原明（製絲）

農藝科卒業生

第一期（甲）（明治二十二年三月卒業）

◎平山龜造（農藝）　◎菅毅（農藝）
上田半三郎（農藝）　◎北村外三郎（農藝）
村上義助（農藝）　金子善之助（農藝）
松川浅次郎（農藝）　◎坂某（農藝）

第一期（乙）（明治二十二年三月卒業）

大島毅（農藝）　上田萬平（農藝）
◎鹿内共之助（農藝）　◎早川鏡兎郎（農藝）
山室朝行（農藝）　鹽田巻也（農藝）
◎千葉勉爾（農藝）　◎小鶴岩太郎（農藝）

◎服部三郎（農藝）　◎柿本敏吉（農藝）
◎久遠市太（農藝）　本村東次郎（農藝）
◎毛利僖（農藝）

第一期（乙）（明治二十二年三月卒業）

平澤許平（農藝）　◎今井與三郎（農藝）
◎木村浅藏（農藝）　岡田順信（農藝）
入江幸太郎（農藝）　◎佐々木新兵衛（農藝）
綱分茂八（農藝）　◎森善三郎（農藝）
◎早川理八郎（農藝）　◎山本金藏（農藝）
本間作馬（農藝）　◎宮島氏次郎（農藝）

第二期（明治二十三年三月卒業）

◎上野德三郎（農藝）　◎永倉榮太郎（農藝）
家菅利型右衛門（農藝）　佐藤敎太郎（農藝）
和久山五郎（農藝）　◎茂木虎藏（農藝）
夏堀八次郎（農藝）　◎齋藤金太（農藝）
小川馬一（農藝）　◎和賀金次郎（農藝）
村井三郎（農藝）

林元太郎（農藝）　文屋延一（農藝）
◎鹽澤重藏（農藝）　◎石垣金一郎（農藝）

西尾實太郎（農藝）
松本竹三郎（農藝）
鹽川儀次郎（農藝）
金田一金太郎（農藝）
◎德力十次郎（農藝）

小田代源太郎（農藝）
佐藤敎太郎（農藝）
◎茂木虎藏（農藝）
◎齋藤金太（農藝）
◎和賀金次郎（農藝）

篠田繁太郎（農藝）
大堀信治（農藝）
雨夜金二郎（農藝）
◎笹村岡次郎（農藝）
◎山田昌三（農藝）

第三期（明治二十四年三月卒業）

◎川村儀七郎（岩手）　◎平野富久藏（岩手）　齋藤馬之助（岩手）
今泉鼎治（北海）　◎町田熊一郎（北海）　三宅輔（北海）
◎荏原傳次郎（北海）　鮎澤武（北海）　◎對馬得三郎（北海）
內田支三郎（秋田）　◎庄司靜藏（北海）　和知新三（山口）
鮎佐寅之助（秋田）　◎佐田勝三（北海）　佐藤季司（北海）
石本鎗之助（北海）　岸田三男吉（北海）　石井德也（北海）

第四期（明治二十五年三月卒業）

秋山三代吉（北海）　◎門馬悌明（北海）　◎寺崎英雄（北海）
鈴木正三（北海）　◎中島理一（北海）　◎泉崎澄藏（北海）
湯淺純彦（北海）　市川權太郎（北海）　齋田喜代作（北海）
田中一熊（北海）　山田儀次郎（北海）　對馬雄一（北海）
◎黑川太次郎（北海）　泉崎正吉（北海）　末松登（北海）
◎竹田忠治（北海）　◎水野美直（北海）　石原猶太郎（北海）
石川寬（北海）　細井榮太郎（北海）　◎佐藤信輔（北海）
◎吉田竹次郎（岩手）　◎山崎春藏（北海）　西東修吉（北海）

第五期（明治二十六年三月卒業）

內藤德太郎（北海）　峯原次六（北海）　◎松平毅太郎（北海）
高野力藏（北海）

本郷敏慎（北海）　◎井上照一郎（岩手）　小岸存仁（北海）　山本鶴松（北海）
佐瀨成丈（北海）　◎吉米地金太郎（北海）　大西伴次（北海）　舟橋三八（北海）
◎小島小次郎（北海）　石原市助（北海）　◎小島忠藏（北海）　山下昌之進（岩手）

第六期（明治二十七年三月卒業）

◎齊藤重孝（北海）　◎富田儀四郎（北海）　庄田萬里（北海）　新谷忠治（北海）
◎高橋修二（北海）　大山德三（北海）　仁科德平（北海）　大木甲太郎（北海）
立林朝吉（北海）　高木克昌（北海）　甲斐沼榮太郎（北海）　鎌田春司（北海）
大河平英熊（鹿兒島）

第七期（明治二十八年三月卒業）

◎田村榮藏（岩手）　何野富重（北海）　坂本吉郎（岩手）
石山重孝（北海）　◎中村哲郎（北海）　今井鶴一郎（北海）　西澤錦次郎（北海）
◎渡邊左右吉（北海）　藤本重太郎（北海）　中島淺次郎（北海）
◎横井時榮（愛知）　松原憲治（北海）　細井寬（北海）　上福福三（北海）
新井田群次郎（北海）　◎山本唯三郎（北海）　◎清水勇吉（岩手）

第八期（明治二十九年三月卒業）

三浦竹次郎（北海）　伊藤保松（北海）　中道富太郎（北海）　山口保三郎（北海）

奥井　博治（北海）　大澤　金吾（北海）
佐藤　光（宮城）　◎佐藤　義因（北海）
堀　静三郎（宮城）　◎蟹野　松太郎（宮城）
島　喜八（宮城）　◎渡邊　孝一（宮城）

第九期（明治三十年三月卒業）

◎笹田　桑太郎（北海）　渡邊　一士（北海）
吉川　銀之丞（宮城）　◎井關　信之助（宮城）
安藤　利生（北海）　遊佐　安治（宮城）
藤島　貞雄（北海）　後藤　安治（宮城）
石井　莞爾（北海）　鹽見　鯛之（宮城）
◎三瀦　貫若（宮城）　津田　豊（宮城）

第十期（明治三十一年三月卒業）

田下　庸藏（新潟）　日野西　長輝（宮城）
鹽澤　恭助（宮城）　◎七尾　貞一郎（宮城）
◎萩原　寅平（宮城）　千葉　米三郎（宮城）
三原　治（宮城）　◎淺田　正吉（宮城）
土川　孝次（北海）

駒田　善植（北海）　若松　常助（宮城）
但木　義雄（宮城）　横井　管次郎（北海）
平尾　喜太郎（宮城）　◎北　英之助（宮城）
有川　熊次郎（福島）　中川　與一（宮城）

◎宮島　信太郎（宮城）　石田　昌人（北海）
吉植　庄三（宮城）　辻村　高遠（宮城）
◎山田　太一郎（宮城）　駒崎　喜久男（北海）
郷田　三介（北海）　◎大河原　幾馬（北海）
佐治　喜六郎（宮城）　石川　五郎（宮城）

◎本田　親英（宮城）　◎氷田　眞三（宮城）
◎田中　幸作（北海）　增本　豊次（宮城）
百田　孟一（山口）　中村　正重（宮城）
◎安井　忠男（宮城）　菊地　有岡（宮城）

第十一期（明治三十二年三月卒業）

◎村山　朝民（宮城）　◎山下　政一（宮城）
間宮　光藏（宮城）　木村　彦四郎（北海）
◎宇野　仁三郎（宮城）　千田　德田（宮城）

第十二期（明治三十四年三月卒業）

◎細田　成吾（宮城）　小瀧　均（宮城）
何野　義勝（宮城）　大佛　修一（秋田）
長谷川　俊敏（宮城）　古田　正二（秋田）

智田　泰造（宮城）　◎渡邊　幸元（宮城）
高井　虎之助（長野）　鍋島　勝藏（宮城）
佐藤　弘（宮城）　◎山田　英一（宮城）

第十三期（明治三十五年三月卒業）

◎森文　佐太郎（北海）　石川　竹三郎（宮城）
宮脇　富（宮城）　宮吉　義（北海）
伊藤　昇（宮城）　◎本間　寛（宮城）
◎山島　久米作（宮城）　梨割　長男（宮城）
◎浦　益館（宮城）　中野　留三郎（宮城）
◎高橋　精二（北海）

第十四期（明治三十六年三月卒業）

鈴木　重慶（宮城）　林　英吉（宮城）
◎岡中　信親（宮城）　定野　定一（宮城）

太田太吉（全卒）　◎竹村俊一（全卒）
石山吟人（全卒）　細萱義郎（全卒）
小島東介（全卒）　◎原田定一（全卒）
森重基（全卒）　前平義一（全卒）
柏崎武雄（全卒）

第十五期（明治三十七年三月卒業）

角谷菅一郎（全卒）　◎赤松義香（全卒）
義尾和夫（全卒）　百瀬客内（全卒）
德力力（全卒）　佐藤太三郎（全卒）
川瀨勘彌（全卒）　金井俊英（全卒）
仁木直平（全卒）　内山繁太郎（全卒）

明治三十七年四月卒業

芋野一二（二年生）

第十六期（明治三十八年三月卒業）

◎伊藤三太（全卒）　土岡源松（全卒）
加藤宗吉郎（全卒）　澁谷静太郎（全卒）
菅根貫（全卒）　木谷殺（二年生）

久米田榮輝（全卒）　藏本三治（全卒）
◎小野菊三郎（全卒）　細田勝次郎（全卒）
高橋信一（全卒）　野呂光治（全卒）
關英一郎（全卒）　石川勇三郎（全卒）

第十七期（明治三十九年三月卒業）

◎鄭重吉（全卒）　今野治宏郎（全卒）
山本清造（全卒）　横山宗吉（全卒）
河合新造（全卒）

明治三十八年五月卒業

豐野谷平藏（全卒）

第十七期（明治三十九年三月卒業）

◎伊藤正直（全卒）　上田雄太郎（全卒）
水野其一（全卒）　定兒敬一（全卒）
田中九八郎（全卒）　勝部幸一（全卒）
秋戸口信藏（全卒）　久保直一（全卒）
◎宮地榮治（全卒）　澁見重（二年生）
河村論一（全卒）　菅原文夫（全卒）
町村敬貴（全卒）　江黒巢（全卒）

第十八期（明治四十年三月卒業）

◎笠井尊次郎（全卒）　高田榮五郎（全卒）

島田五郎（長野）　倉井小次郎（岡山）
宮腰伊七郎（北海）　◎森　久（宮城）
畠山　孟（宮城）　繁野　秀介（北海）
黒田銀四郎（愛知）　藤井　保（愛知）
倉田恭次郎（宮城）　大國　督（北海）

第十九期（明治四十一年三月卒業）

長谷川　浩（静岡）　吉田　隆雲（秋田）
椎　宗佐（鹿児島）　竹前慶次郎（宮城）
高橋正男（北海）　宮本　毅一（北海）
玉山　要（北海）　山田新吉（北海）
諏澤直記（北海）　鈴木　真吉（秋田）
佐藤久次郎（岩手）　遠藤久米之助（秋田）
多屋　武（北海）　鈴木　澤一（香川）
楊　熙　光（宮城）　牛　献　周（宮城）
玉之　纘（宮城）

第二十期（明治四十二年三月卒業）

林田茂右衛門（宮城）　安藤　二郎（東京）

佐藤勝四郎（秋田）　納野　茂作（北海）
湯野川孝吉（北海）　土屋　均（北海）
橋本鶴次郎（山形）　田邊　周二（宮城）
納田　久吉（北海）　千葉　北海（北海）
高　平（宮城）

小林　稷（大阪）　北澤　道（北海）
村上草之助（北海）　豊永　徹雄（鹿児島）
百瀬英馬（北海）　笠井　長平（北海）
黒澤謙吾（北海）　堀江信次郎（北海）
佐々木晴吉（北海）　木村海一郎（北海）
宮原武男（北海）　鹽川　萬作（静岡）
廣瀬秀雄（北海）　◎仁木　茂（福島）
周　秉　瑾（宮城）　齋藤　熙（宮城）

大澤　一（北海）　相澤次吉（北海）

山内政五郎（青森）　吉田許二（大阪）
伊達正人（北海）　和田耕助（富山）
谷藤正太郎（北海）　野田由太郎（宮城）
月原徳造（北海）　鹽山積次（宮城）
菅井博愛（岩手）　◎篠田　明（北海）
戸澤忠二（北海）　山下太郎（長野）
◎新保大吉郎（北海）　◎兎　綱（宮城）

兵學科別科卒業生

第一期（明治三十三年卒業）

◎小幡　彬（北海）　大塚善輔（富山）
龍岡六郎（宮城）　新井松四郎（埼玉）
藤森田盛欽（宮城）　川上親興（千葉）
指宿近秋（鹿児島）　◎鈴木光五郎（宮城）
永井實英（宮城）　上杉嘉一（福島）
戸倉倫太郎（青森）　◎金澤文之助（香川）

根本昨彌（宮城）　清水四郎（宮城）
◎齋藤德太郎（静岡）　◎藤久專一（宮城）
曲尾寅男（宮城）　鳥海吉郎（山形）
植野末廣（宮城）　稲田　豊（宮城）
上野織男（宮城）　◎武邊兵造（長野）
石野慶太郎（長野）　多久和　愿（宮城）
平樹　植（宮城）

◎菊地　直人（福島）　石川實三男（宮城）
◎織田見長太（福島）　小野左司馬（長野）
◎中井角具衛（福岡）　◎菊地盛三（長野）
鈴木次郎（東京）　並河新吾（北海）
◎富田貞賢（宮城）　山田貞介（宮城）
◎藤田　與（宮城）　飛島井恒廣（宮城）

第二期（明治二十五年三月卒業）

笹沼寅五郎（故）	海江田信誠（故）	牧野清作（故）
◎川田矢熊（故）	鈴木光松（故）	◎小川善（故）
◎白木駒（故）	◎井上榮作（故）	◎堀八武臣（故）
宮部子會彦（故）	天野幸太郎（故）	◎村岸次郎（故）
松本清一郎（故）	◎鈴木榮次郎（故）	守谷民治（故）
		◎岩田喜太郎（故）
		川下光男（故）
		伊藤徳藏（故）

卒業生總數

八、二一六

內譯		
農學士	札幌農學校	三八二
	東北帝國大學農科大學	四一三
	北海道帝國大學農科大學	五四
	北海道帝國大學	六三三
林學士	東北帝國大學農科大學	五九
	北海道帝國大學農科大學	一三
	北海道帝國大學	一〇七
工學士（札幌農學校）		一六

醫學士		二六一
工學士		一五一
農學部選科修了者		六八
農科（札幌農學校）		二三一
獸醫科（札幌農學校）		二二七
大學獸醫科		一、二四九
獸醫科		一、四七〇
農學實科		五〇六
森林科及林學科		一三六
林學實科		四七八
土木工學科		二九五
土木專門部		三一四
水產學科		二七九
水產專門部		三九九
農藝科		四三三
兵學科別科		四二

○令和元年分の所得税の確定申告の手引き　（令和二年二月六日現在の法令等）

目次

一　所得税の確定申告	一
二　確定申告が必要な人	一
三　確定申告をすれば税金が還付される人	二
四　確定申告をすることができる人	二
五　確定申告をしなければならない人	二
六　確定申告をしなくてもよい人	三
七　確定申告書の提出先	三
八　確定申告書の提出期限	三
九　確定申告書の提出方法	三
十　確定申告書の記載方法	四
十一　確定申告書の添付書類	四
十二　確定申告書の控えの提出	四
十三　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
十四　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
十五　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
十六　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
十七　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
十八　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
十九　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
二十　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
二十一　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
二十二　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
二十三　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
二十四　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
二十五　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
二十六　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
二十七　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
二十八　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
二十九　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
三十　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
三十一　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
三十二　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
三十三　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
三十四　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
三十五　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
三十六　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
三十七　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
三十八　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
三十九　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
四十　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
四十一　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
四十二　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
四十三　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
四十四　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
四十五　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
四十六　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
四十七　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
四十八　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
四十九　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
五十　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
五十一　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
五十二　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
五十三　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
五十四　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
五十五　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
五十六　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
五十七　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
五十八　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
五十九　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
六十　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
六十一　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
六十二　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
六十三　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
六十四　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
六十五　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
六十六　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
六十七　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
六十八　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
六十九　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
七十　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
七十一　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
七十二　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
七十三　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
七十四　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
七十五　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
七十六　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
七十七　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
七十八　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
七十九　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
八十　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
八十一　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
八十二　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
八十三　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
八十四　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
八十五　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
八十六　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
八十七　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
八十八　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
八十九　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
九十　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
九十一　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
九十二　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
九十三　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
九十四　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
九十五　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
九十六　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
九十七　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
九十八　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
九十九　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四
百　確定申告書の提出後に税額が変わった場合	四

病名																							
急性胃腸加答兒	1	1		1	1			1	1														
慢性胃腸加答兒（胃擴張ヲ含ム）			1								1				1				1				
急性胃腸カタル	1	六	六	五	六	七	六	七	六	六	六	七	1	四	1	七	七		四	六	1	1	六
慢性胃腸カタル（胃擴張ヲ含ム）	1			1	1	1										1							
潰瘍						1		1	1			1		1		1	二	二	二			1	一〇
癌腫																				二	四		六
不詳		1		1					1				1	1	1			1			四	三	一〇
記入ナシ	四	四	二	四	1	1	1	1	四	四	四	1			1	1					1		四
合計	一〇四	一〇五	一〇四	一〇七	一〇四	一〇一	一〇六	一〇一	一〇二	一〇一	一〇四	一〇六	四	一〇四	一〇	一〇六	一〇六	一〇四	一〇一	一〇二	一〇四	一〇四	一〇四一

病名及月別罹病

病名	年齢別罹病大患ノ有無	年齢別罹病大患																					合計
		一歳				二歳				三歳				四歳				五歳				六歳	
		大正一一年	大正一二年	大正一三年	大正一四年	大正一五年	大正一六年	大正一七年	大正一八年	大正一九年	大正二〇年	大正二一年	大正二二年	大正二三年	大正二四年	大正二五年	大正二六年	大正二七年	大正二八年	大正二九年	大正三〇年	大正三一年	大正三二年	
胃腸加答兒				1	1				1	1													11
胃腸カタル	1	1							1			1	1		1								11

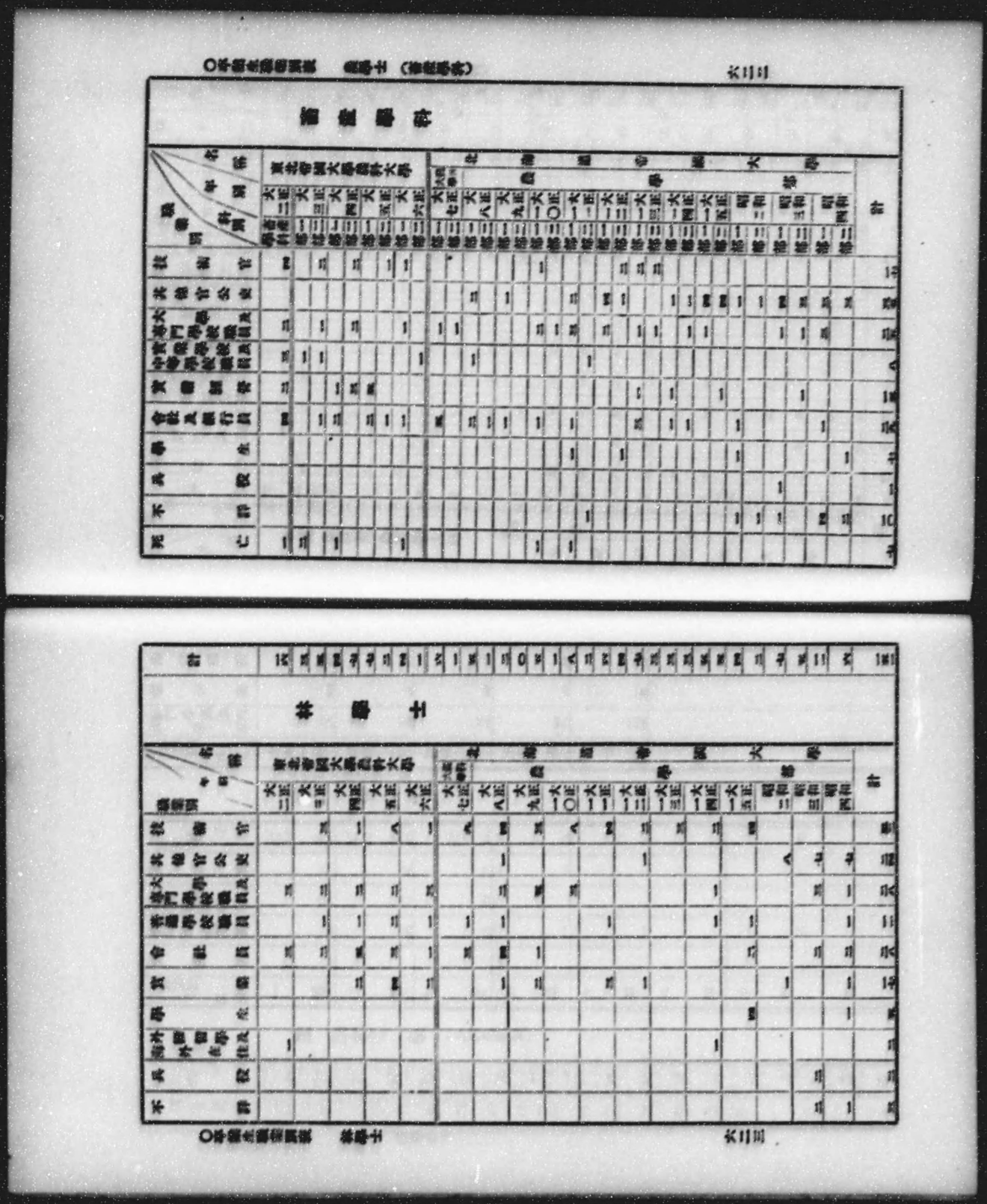
病名																							
急性胃腸加答兒		1			1	1	1			1	1		1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1
慢性胃腸加答兒（胃擴張ヲ含ム）							1									1							1
急性胃腸カタル						1																	1
慢性胃腸カタル	1				1	1					1												3
潰瘍								1					1			1			1				3
癌腫				1									1	1									3
不詳	1	1	1			1	1	1	1	1	1	1		1	1			1	1				16
記入ナシ								1															1
合計	2	2	1	1	2	3	2	2	1	1	2	1	2	2	1	2	0	2	2	1	1	1	34

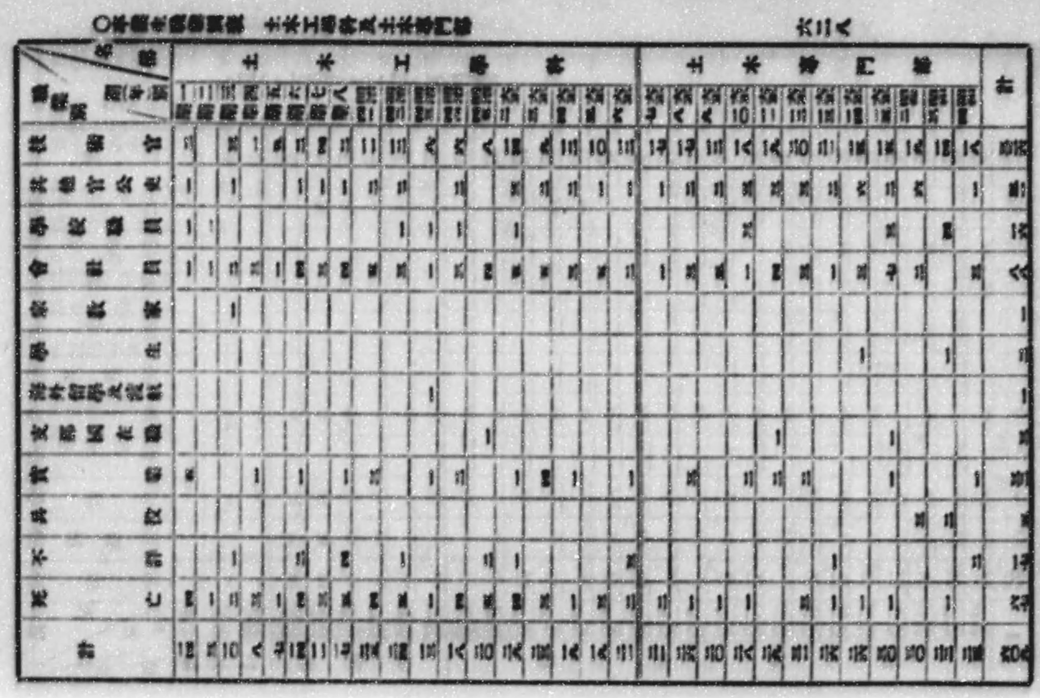
病名及月別罹病

農藝化學科

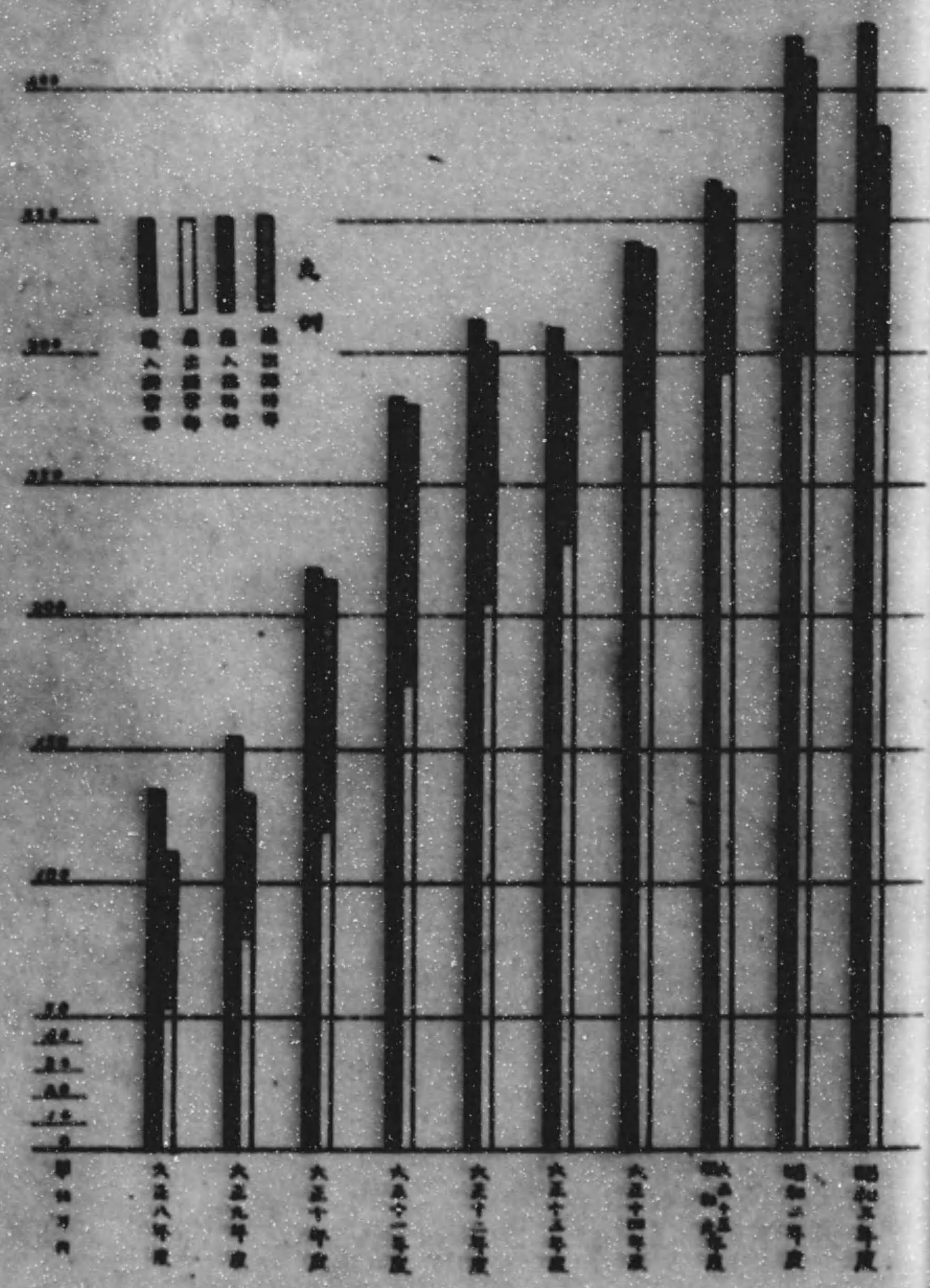
名稱	學科	年別	技術官	其他官公吏	大學及專門學校職員	實業學校及中等諸學校職員	農會產業組合職員、農場監督	會社及銀行員	學生	兵役	不詳	死亡	計
東北帝國大學農科大學	農學科第三部	大正三				一						一	二
		大正四			二			一					三
		大正五			二			一					三
		大正六	一										一
北海道帝國大學 大學農科	農學科第三部	大正七			三							二	五
		大正八			一			一					二
		大正九					一						一
		大正一〇				二							二
北海道帝國大學 農學部	農業生物學科	大正一一			四				一				五
		大正一二							一				一
		大正一三		三	三								六
		大正一四						一	一				二
		大正一五			三								三
		昭和二		一	一				四				六
		昭和三			二				二	二			六
		昭和四		一	二	一			一		一		六
計			一	五	二三	四	一	四	一〇	二	一	三	五四

名稱	年別	技術官	其他官公吏	大學及專門學校職員	實業學校及中等諸學校職員	實業經營	官廳囑託	農會產業組合職員農場監督	會社及銀行員	學生	兵役	不詳	死亡	計
東北帝國大學農科大學	明治四三			二										二
	明治四四	四		二	二	一			一				一	一一
	明治四五	三				一							一	五
	大正二	一		一		一			一				一	五
	大正三	三				二	一		九				一	一六
	大正四	四	一	三		四			八				一	二一
	大正五	三		二	一	二			一二					二〇
	大正六	一	二	三	二	一			五			一	一	一六
北海道帝國大學 大學農科	大正七			三		一		一	五			二		一二
	大正八	二		一	三	二		一	五					一四
北海道帝國大學 農學部	大正九	三	一	一	一	三			一〇				一	二〇
	大正一〇	六	三	四	三	二			五			三		二六
	大正一一	七	四	三	三	一			六				一	二五
	大正一二	五		二	四	二			五	二			一	二一
	大正一三	二		四	四	一	一		一〇			一	一	二四
	大正一四			二	一	三			五			一		一二
	大正一五		一	二	三	一			二			一		一〇
	昭和二		五	五	一				三	二		三		一九
	昭和三		五	三		一					二	四		一五
	昭和四		六	一		一			一	二		五		一六
計		四四	二八	四四	二八	三〇	二	二	九三	六	二	二一	一〇	三一〇





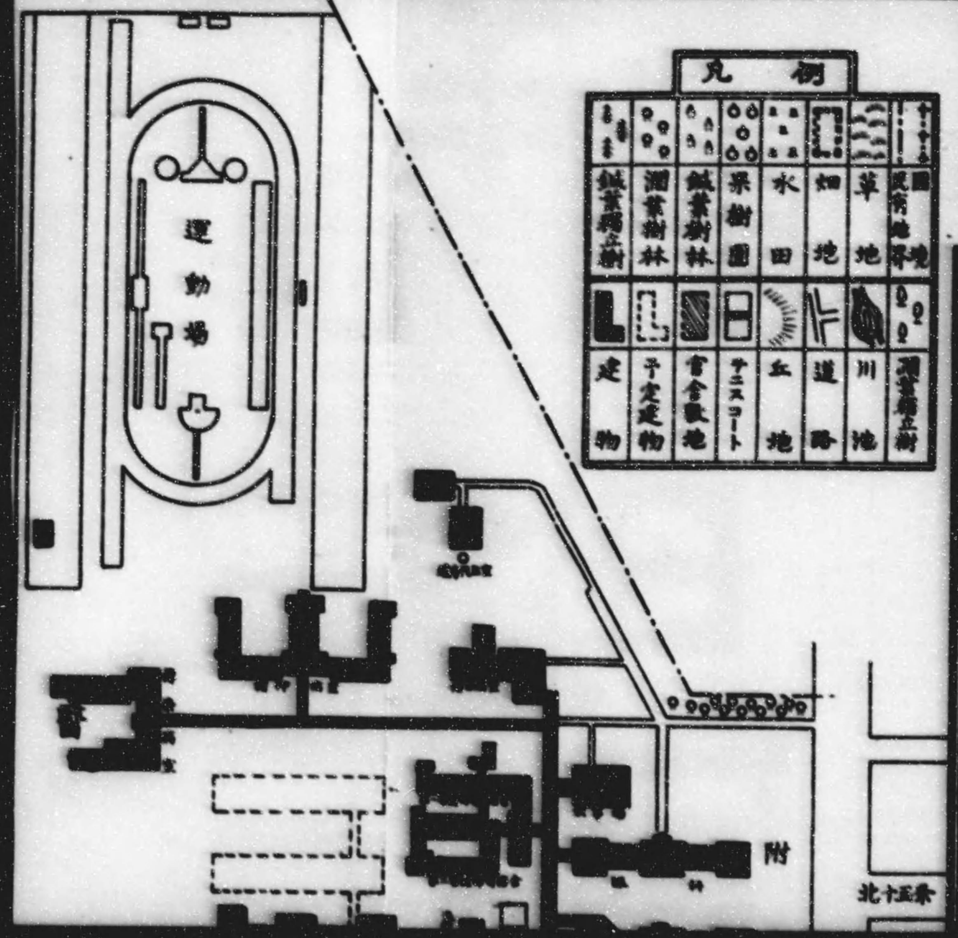
北海道帝國大學 歳入歳出累年統計表



農藝科

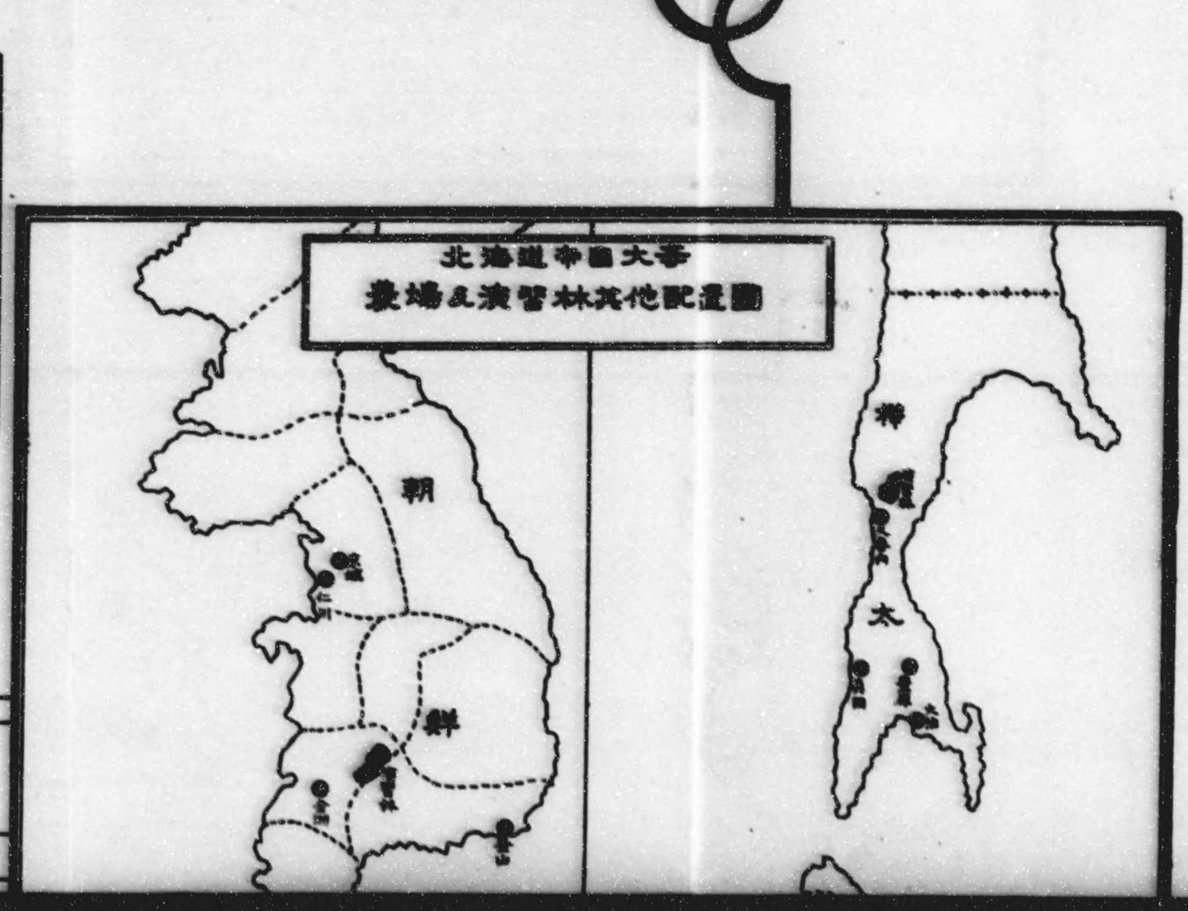
期別＼職業別	技術官	其他官公吏	大學及專門學校職員	外國留學及海外在住	農會、農場	會社銀行	記者、著述家、宗教家	實業學校中等學校職員	實業經營	不詳	死亡	計
一期					三		一	一	二	七	三三	四七
二期		一			二	一			七	五	七	二三
三期	一	一			一	一			七	五	九	二五
四期				一	一			一	七	四	九	二三
五期					一	一			四	五	五	一六
六期						一			六	三	三	一三
七期					一				一〇	二	六	一九
八期	四	三	一		二	一			三	三	三	二〇
九期	二			一		二			五	五	六	二一
十期	二				一			一	七	一	五	一七
十一期		三			二				一	二	四	一二
十二期				一					六	一	三	一一
十三期		二	一		二				一	二	五	一三
十四期	三	一		一	一	一		一	七	二	四	二一
十五期	三	二		三		四			三	二	三	二〇
十六期	五	三				一		一	五		三	一八
十七期	六	三			二	七	一	一	三	五	三	三一
十八期	七		一			五			五	二	三	二三
十九期	七	一			三	二			一三	七	一	三四
二十期	二	四	一			九			六	三	五	三〇
計	四〇	二五	四	七	二三	三六	二	六	一二八	六四	一三三	四三七

北海道帝國大學平面圖



凡例

鉱業關係建物	測量樹林	鉱業樹林	果樹園	水田	畑地	草地
定物	予定建物	會舍敷地	テニスコート	紅地	道路	川池



北海道帝國大學平面圖

凡例

- 國有地境界
- 草地
- 畑地
- 水田
- 果樹園
- 苗木養成樹林
- 測量標立樹
- 鉄筋構造物
- 木造物
- テニスコート
- 雪合戦地
- 土地
- 道路
- 川
- 池

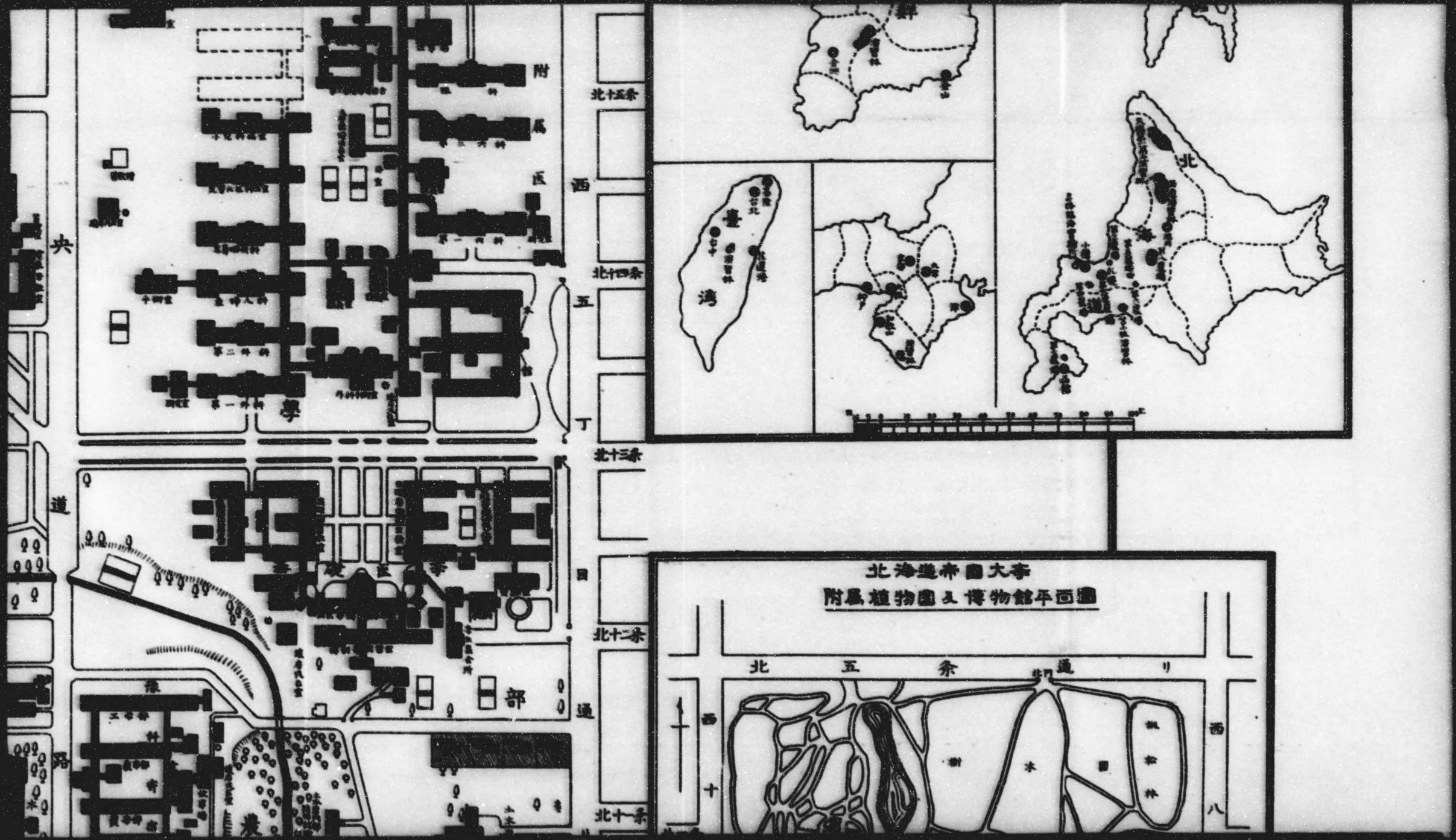
運動場

野球場

中

附

北十五条


附屬病院
北十五条
西四丁目
北十四条
五丁目
北十三条
北十二条
北十一条
北海道帝國大學
附屬植物園及博物館平面圖
北五条通
西十丁目
西八丁目

附属医院

北十五条

西五丁目

北十四条

北十三条

北十二条

北十一条

中央通

工学部

農学部

理学部

薬学部

北大植物園

北大構内

部

通

北十一条

リ

北十条

大

学

北九条

西十一丁目通

北四条

北三条

西八丁目通

北二条通り

理学部
農学部
北十条
北九条
西十一丁目通

附錄

文武會會則

（昭和四年五月改正）

第一章 總則

第一條　本會ハ之ヲ北海道帝國大學文武會ト稱ス

第二條　本會ハ會員ノ智德ヲ錬修シ體育ヲ增進シ兼テ會員ノ親和ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第三條　本會ニ左ノ部ヲ設ク

文藝部、新聞部、音樂部、美術部、弁論部、、柔道部、劍道部、弓道部、角力部、陸上競技部、ア式蹴球部、ラグビー蹴球部、水泳部、野球部、庭球部、山岳部、スキー部、スケーチング部、ホアケー部

第四條　會員ハ各部ニ加入シ其部員トナルコトヲ得

第二章 會員

第五條　本會々員ハ通常會員、特別會員、及賛助會員ヨリ成ルモノトス

第六條　北海道帝國大學在籍ノ學生生徒ハ必ス通常會員タルモノトス

第七條　北海道帝國大學職員及教官ハ特別會員ヨリ成ルモノトス

第　条　株式会社定款ニ定メタル事項ヲ変更スルトキハ本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ為スヲ要ス

第　条　本店ノ所在場所ヲ変更スルトキハ、新所在場所ニ於テハ三週間内ニ旧所在場所ニ於テハ四週間内ニ変更ノ登記ヲ為スヲ要ス

第四節　設　立

第　条　発起人ハ次ノ事項ヲ調査ス

会　社　一　号　　商号変更　一　号　　目的変更　一　号

増資額　拾万円　　目　的　拾万円　　増資後資本額　拾万円

第　条　株式組織変更ニ依ル設立ニ付テハ

第　条　増資額ニ付株金全額ノ払込アリタル旨ノ取締役ノ報告書ニ付テハ

第　条　目的ニ付会社ノ営業ヲ変更シタル場合ニ於テハ変更ノ登記ヲ為スヲ要ス

第　条　本店ノ所在場所ニ付テハ

第　条　目的ニ付テハ

第　条　目的ニ付会社ノ営業ヲ変更シタル場合ニ於テハ変更ノ登記ヲ為スヲ要ス

第　条　商号ニ付テハ

第　条　目的ニ付テハ

第　条　目的ニ付テハ

第　条　目的ニ付テハ

第　条　目的ニ付テハ

第　条　目的ニ付テハ

第　条　目的ニ付テハ

第　条　目的ニ付テハ

第　条　目的ニ付テハ

第五節　目論見書

第　条　目論見書ニ目論見書ニ関スル事項ヲ記載スルトキハ

第　条　目論見書ニ左ノ事項ヲ記載スルトキハ

一　本店ノ所在場所

一　増資ノ事項

一　目的ニ付テハ

一　目的ニ付テハ

一　株金ニ付テハ

第　条　本店ノ所在場所ニ付テハ

第　条　目的ニ付テハ

第　条　目的ニ付テハ

第六節　定　款

第二十七條　通常會員ハ入會ト同時ニ入會金トレテ金貳圓ヲ納ムルモノトス

第二十八條　通常會員ノ會費ハ一ケ年金四圓トシ經費料ト共ニ第一期二圓第二期二圓ヲ納ムルモノトス

第二十九條　特別會員ノ會費トシテ毎月俸給月額百五十分ノ一ヲ納ムルモノトス

第三十條　賛助會員ハ毎年金壹圓以上ヲ納ムルモノトス

但シ左ノ事項ニ該當スルモノハ會費ヲ要セス

一、賛助會員ニシテ一時金拾圓ヲ納メタルモノ

一、特別會員ヨリ賛助會員ニ轉シタルモノ

第三十一條　前條ノ金額ハ之ヲ基本金ニ組入スルモノトス

第三十二條　會費ハ理事會ニ於テ編成シタル豫算ニ從ツテ之ヲ使用スルモノトス

但シ會計年度ハ四月ニ始マリ翌年三月ニ終ル

第三十三條　基本金ハ基本財産トシ利子ノ外使用スルコトヲ得ス

第六章　附　則

第三十四條　本會々則修正ニ關スル發議ハ理事ノ過半數或ハ會員六十名以上ノ賛成ヲ得タルニ非サレハ提出スルコトヲ得ス

第三十五條　本會々則ニ關スル修正ハ理事會ヲ開キ五分間以上ノ出席ヲ以テ三分ノ二以上ノ同意ニヨリテ決ス

文武會各部通則

第一條　各部ニ左ノ役員ヲ置ク

部　長　一名　幹　事　若干名

第二條　部長ハ特別會員中ヨリ各部幹事之ヲ推薦シ會頭ノ承認ヲ經ルモノトス

第三條　幹事ハ各部々員中ヨリ互選スルモノトス

幹事中主任一名ヲ定ム

第四條　部長ハ其ノ部ヲ管理シ幹事ハ部長ヲ補佐シテ其ノ事務ニ從事ス

第五條　役員ノ專任トシ二部ヲ兼ヌルコトヲ得ス

第六條　幹事ノ任期ハ一ケ年トシ毎年一月來改選スルモノトス

但シ再選スルコトヲ得

第七條　各部ノ事業ハ施行前當該部長ヨリ理事長ニ通知シテ會頭ノ承認ヲ受クヘシ

第八條　各部ニハ獨立ノ會計ヲ立テシメ補助金ヲ給スルモノトス

第九條　各部々長ハ其部次年度ノ經費豫算ヲ毎月一月末マテニ理事長ニ提出スルモノトス

第十條　各部經費ノ支拂ハ主任幹事及會計主任ノ捺印シタル領收者ノ請求書ニヨリ會計員之ヲ取扱フ

第十一條　各部ニ關スル重大ナル事項ハ理事長ノ出席ヲ求メテ決スルモノトス

第十二條　各部々長ハ毎年度末其部ノ記錄及決算報告書ヲ理事長ヲ經テ提出スルモノトス

交換給電規程　（昭和四十四年四月）

第一章　通則
第二章　交換給電の運営
第三章　交換給電の運営に必要な事項
第四章　交換給電の運営に必要な事項
第五章　交換給電の運営に必要な事項
第六章　交換給電の運営に必要な事項
第七章　交換給電の運営に必要な事項
第八章　交換給電の運営に必要な事項
第九章　交換給電の運営に必要な事項
第十章　交換給電の運営に必要な事項
第十一章　交換給電の運営に必要な事項
第十二章　交換給電の運営に必要な事項
第十三章　交換給電の運営に必要な事項
第十四章　交換給電の運営に必要な事項
第十五章　交換給電の運営に必要な事項
第十六章　交換給電の運営に必要な事項
第十七章　交換給電の運営に必要な事項
第十八章　交換給電の運営に必要な事項
第十九章　交換給電の運営に必要な事項
第二十章　交換給電の運営に必要な事項
第二十一章　交換給電の運営に必要な事項
第二十二章　交換給電の運営に必要な事項
第二十三章　交換給電の運営に必要な事項
第二十四章　交換給電の運営に必要な事項
第二十五章　交換給電の運営に必要な事項
第二十六章　交換給電の運営に必要な事項
第二十七章　交換給電の運営に必要な事項
第二十八章　交換給電の運営に必要な事項
第二十九章　交換給電の運営に必要な事項
第三十章　交換給電の運営に必要な事項
第三十一章　交換給電の運営に必要な事項
第三十二章　交換給電の運営に必要な事項
第三十三章　交換給電の運営に必要な事項
第三十四章　交換給電の運営に必要な事項
第三十五章　交換給電の運営に必要な事項
第三十六章　交換給電の運営に必要な事項
第三十七章　交換給電の運営に必要な事項
第三十八章　交換給電の運営に必要な事項
第三十九章　交換給電の運営に必要な事項
第四十章　交換給電の運営に必要な事項
第四十一章　交換給電の運営に必要な事項
第四十二章　交換給電の運営に必要な事項
第四十三章　交換給電の運営に必要な事項
第四十四章　交換給電の運営に必要な事項
第四十五章　交換給電の運営に必要な事項
第四十六章　交換給電の運営に必要な事項
第四十七章　交換給電の運営に必要な事項
第四十八章　交換給電の運営に必要な事項
第四十九章　交換給電の運営に必要な事項
第五十章　交換給電の運営に必要な事項
第五十一章　交換給電の運営に必要な事項
第五十二章　交換給電の運営に必要な事項
第五十三章　交換給電の運営に必要な事項
第五十四章　交換給電の運営に必要な事項
第五十五章　交換給電の運営に必要な事項
第五十六章　交換給電の運営に必要な事項
第五十七章　交換給電の運営に必要な事項
第五十八章　交換給電の運営に必要な事項
第五十九章　交換給電の運営に必要な事項
第六十章　交換給電の運営に必要な事項
第六十一章　交換給電の運営に必要な事項
第六十二章　交換給電の運営に必要な事項
第六十三章　交換給電の運営に必要な事項
第六十四章　交換給電の運営に必要な事項
第六十五章　交換給電の運営に必要な事項
第六十六章　交換給電の運営に必要な事項
第六十七章　交換給電の運営に必要な事項
第六十八章　交換給電の運営に必要な事項
第六十九章　交換給電の運営に必要な事項
第七十章　交換給電の運営に必要な事項
第七十一章　交換給電の運営に必要な事項
第七十二章　交換給電の運営に必要な事項
第七十三章　交換給電の運営に必要な事項
第七十四章　交換給電の運営に必要な事項
第七十五章　交換給電の運営に必要な事項
第七十六章　交換給電の運営に必要な事項
第七十七章　交換給電の運営に必要な事項
第七十八章　交換給電の運営に必要な事項
第七十九章　交換給電の運営に必要な事項
第八十章　交換給電の運営に必要な事項
第八十一章　交換給電の運営に必要な事項
第八十二章　交換給電の運営に必要な事項
第八十三章　交換給電の運営に必要な事項
第八十四章　交換給電の運営に必要な事項
第八十五章　交換給電の運営に必要な事項
第八十六章　交換給電の運営に必要な事項
第八十七章　交換給電の運営に必要な事項
第八十八章　交換給電の運営に必要な事項
第八十九章　交換給電の運営に必要な事項
第九十章　交換給電の運営に必要な事項
第九十一章　交換給電の運営に必要な事項
第九十二章　交換給電の運営に必要な事項
第九十三章　交換給電の運営に必要な事項
第九十四章　交換給電の運営に必要な事項
第九十五章　交換給電の運営に必要な事項
第九十六章　交換給電の運営に必要な事項
第九十七章　交換給電の運営に必要な事項
第九十八章　交換給電の運営に必要な事項
第九十九章　交換給電の運営に必要な事項
第百章　交換給電の運営に必要な事項

第八條　差支ナキ限リ各大學各高等學校ト交換演說會ヲ開クコトアルヘシ
第九條　本部ハ左ノ事項ヲ爲スモノトス
一、每學期一回講演會ヲ開ク
二、時宜ニ依リ名士ヲ招待シ講演會ヲ開ク
第十條　本部ノ會ハ公開ヲ爲スコトアルヘシ

陸上競技部細則

第一條　本會ハ各科（農學部、醫學部、工學部、醫科、農學實科、林學實科、土木專門部、水產專門部）ニ陸上競技支部ヲ設ケ其ノ統一ヲ計ル
但シ支部ハ各科設クル所ノ競技團體ニ一致スルモノトス
第二條　部員ハ文武會通常會員ノ有志者ニシテ各科陸上競技支部員タルモノヲ以テ組織ス
第三條　各科支部ニ委員二名ヲ置ク
但シ委員ニハ各科設クル所ノ競技團體ノ委員ヲ以テ爲ス
第四條　本部ニハ左ノ役員ヲ置ク
部長　一名　幹事　數名
但シ幹事ハ主任、副主任（マネーヂャー）、庶務係、競技係（キャプテン）、會計係、記錄係及各科支部委員ヨリナル改選期ハ每年十一月トス
第五條　本部ハ每年春季全道中等學校陸上競技會ヲ主催シ秋季本部陸上競技大會ヲ開ク其ノ他適當ト認メタル

運動ニ關スル事業ヲ行フ

劍道部細則

第一條　本部ハ文武會通常會員ノ有志者ヲ以テ組織ス
第二條　本部ニ左ノ役員ヲ置ク
一、部長　一名　一、幹事　七名（内一名ヲ主任トス）
第三條　本部々員ハ部費トシテ每年金貳拾錢ヲ納ムルモノトス
第四條　本部ハ年三回小集會ヲ一回大會ヲ開ク

柔道部細則

第一條　本部ハ文武會通常會員ノ有志ヲ以テ組織ス
第二條　本部ニ左ノ役員ヲ置ク
一、部長　一名　一、幹事　八名
第三條　本部々員ハ部費トシテ每年金貳拾錢ヲ納付スヘシ
第四條　每學期一回小集會ヲ開キ一學年一回大會ヲ開ク
第五條　部員タルノ資格ヲ缺カレムル者ハ除名ス

弓道部細則

第一條　本部ハ文武會通常會員ノ有志者ヲ以テ組織ス
第二條　本部ニ左ノ役員ヲ置ク
一、部長　一名　一、幹事　五名
第三條　本部々員ハ部費トシテ毎月金五錢ヲ納付スヘシ
第四條　春秋二季大會ヲ開ク
第五條　本部々員ニシテ其ノ責任ヲ盡サヽル者ハ除名ス

野球部細則

第一條　本部ハ文武會通常會員ノ有志者ヲ以テ組織ス
第二條　本部ニ左ノ役員ヲ置ク
一、部長　一名　一、幹事　八名
第三條　本部々員ハ毎月部費トシテ金五錢ヲ納付スヘシ
第四條　本部々員ニシテ其ノ責任ヲ盡サヽル者ハ除名ス

庭球部細則

第一條　本部ハ文武會通常會員中ノ有志者ヲ以テ組織ス
第二條　本部ニ左ノ役員ヲ置キ事務ヲ掌理ス
一、部長　一名　一、幹事　八名（内主任一名會計一名コート幹事各二名）
第三條　本部員ハ部費トシテ毎年金貳拾錢ヲ納付スヘシ
第四條　本部々員ニシテ其ノ責任ヲ盡サヽル者ハ除名ス

スケーチング部細則

第一條　本部ハ文武會通常會員ノ有志者ヲ以テ組織ス
第二條　本部ニ左ノ役員ヲ置ク
一、部長　一名　一、幹事　六名
第三條　本部開設時期ハ毎年十二月ニ始リ翌年三月ニ至ル四箇月間トス
第四條　本部員ハ開設時期ノ間部費トシテ毎月金拾錢ヲ納付スヘシ

スキー部細則

第一條　本部ハ文武會通常會員ノ有志者ヲ以テ組織ス
第二條　本部ニ左ノ役員ヲ置ク
一、部長　一名　一、幹事　八名

第三條　本部員ハ部費トシテ一箇年金貳拾錢ヲ納付スヘシ
第四條　毎年一回大會ヲ開ク
臨時寒中旅行ヲ催スコトアルヘシ
第五條　部員タル體面ヲ汚カシムル者ハ除名ス

角力部細則

第一條　本部ハ文武會通常會員ノ有志者ヲ以テ組織ス
第二條　本部ニ左ノ役員ヲ置ク
一、部長　一名　一、幹事　九名　（内一名主任トス）
第三條　本部ハ春秋二回大會ヲ開ク
第四條　部員タル資格ヲ汚カシムル者ハ除名ス

水泳部細則

一、部員ハ文武會々員中ノ有志ヨリナル
二、役員　部長一名、主任一名、幹事若干名
三、部員ハ毎年部費トシテ金壹圓ヲ納ムルコト
四、毎夏一回大會ヲ開催ス

五、部員タルノ責任ヲ盡サザル者ハ幹事會ノ決議ヲ經テ除名スルコトアルヘシ

音樂部細則

第一章　名稱及目的

一、音樂ノ研究ト普及トヲ以テ目的ト爲シ兼ネテ部員人格ノ陶冶ヲ期ス
一、本部ヲ北大文武會音樂部ト稱ス

第二章　部員及組織

一、文武會員ニシテ音樂ヲ愛好スル者ハ本部員タルコトヲ得
一、本部中ニ管絃樂部、マンドリン樂部、聲樂部ヲ設ク
一、部長一名、主任幹事六名ヲ設ク

第三章　事業

一、毎年一回定期大會ヲ開催ス
一、臨時演奏會、音樂講演會、其ノ他本部ノ目的ニ叶フト認メラレタル諸種ノ事業ヲ爲スコトアルヘシ

附則

一、各樂部ヨリ各二名宛ノ幹事ヲ選出ス
幹事ハ主任幹事ヲ互選ス
一、毎年一回總會ヲ開催ス

一、本檢驗單適用於申報人依本法第二十條第一項規定申報檢驗之案件。

二、申報人應檢附下列文件：

（一）申報書正本一份及副本二份。

（二）本法第二十條第一項第一款至第三款規定之證明文件。

（三）申報人之身分證明文件影本。

（四）檢驗費用之繳納證明。

三、申報書應載明下列事項：

（一）申報人之姓名、住址及聯絡電話。

（二）受檢物之名稱、數量及規格。

（三）受檢物之存放地點及可供檢驗之時間。

（四）申報人與受檢物之關係。

四、檢驗費用依下列標準計收：

（一）第一級檢驗：每件新臺幣一千二百元。

（二）第二級檢驗：每件新臺幣二千五百元。

（三）第三級檢驗：每件新臺幣五千元。

核准檢驗單

第一條　本檢驗單依據本法第二十條第二項規定訂定。

第二條　本檢驗單之適用範圍如下：

一、第一級檢驗　二、第二級檢驗　三、第三級檢驗　四、第四級檢驗

第三條　本檢驗單之有效期間為自核准之日起一年。

第四條　本檢驗單不得轉讓、出借或變造。

第五條　本檢驗單遺失或毀損者，得向原核准機關申請補發。

第六條　本檢驗單之核准、補發及廢止，由中央主管機關統一辦理。

申報檢驗單

第一條　本檢驗單依據本法第二十條第二項規定訂定。

第二條　本檢驗單之適用範圍如下：

一、第一級檢驗　二、第二級檢驗　三、第三級檢驗　四、第四級檢驗

第三條　本檢驗單之有效期間為自核准之日起一年。

第四條　本檢驗單不得轉讓、出借或變造。

第五條　本檢驗單遺失或毀損者，得向原核准機關申請補發。

第六條　本檢驗單之核准、補發及廢止，由中央主管機關統一辦理。

檢驗單一式二份

第一條　本檢驗單依據本法第二十條第二項規定訂定。

第二條　本檢驗單一式二份，一份交申報人收執，一份由檢驗機構留存。

第三條　本檢驗單之有效期間為自核准之日起一年。

一、第一級檢驗　二、第二級檢驗　三、第三級檢驗　四、第四級檢驗

但シ幹事ハ庶務主任、主將、庶務、會計、物品、記錄ノ諸係ヨリナル
第四條　本部ハ適當ト認メタル對內及對外ノ各競技會ヲ開催シ若ハ之ニ出場ス
第五條　本部々員ハ部費トシテ年額金參圓ヲ納付スヘシ
但シ部費ハ四月、九月、十二月ノ三期ニ分チテ納ムルコトヲ得
第六條　本部々員ニシテ其ノ責任ヲ盡サヾル者ハ除名ス

ラグビー部細則

第一條　本部ハ文武會通常會員ノ有志ヲ以テ組織ス
第二條　本部ハラグビー蹴球競技ノ修練ニヨリ心身ノ練磨向上ヲ期ス
第三條　本部ハ各部通則第一條及第六條ニヨリ左ノ役員ヲ置ク
一、部長　一名　一、幹事　十名
但シ幹事ハ主任、大學主將、豫科主將、實科專門部主將、各科幹主將、選手監督、庶務會計及ビ記錄係ヨリナルモノトス
第四條　本部ハ適當ト認メラレタル學內及ビ對外ノ競技會ヲ開催シ又之ニ出場ス
第五條　本部員ハ部費トシテ年額金貳圓也ヲ納付スヘシ
但シ部費ハ四月、九月ノ二期ニ分納スルコトヲ得
第六條　本部員ニシテ其ノ責任ヲ盡サヾルモノハ幹事會ノ決議ヲ經テ除名スルコトアルヘシ

第十六臨時教員養成所一覧

昭和四年

第十六臨時教員養成所一覽

昭和四年

目次

○沿革略 一
○關係法令 一
臨時教員養成所官制 一
臨時教員養成所規程 二
高等師範學校卒業者服務規則 七
○臨時教員養成所ノ名稱及其ノ學科 一〇
○第十六臨時教員養成所規則 一三
第一章 目的 一三
第二章 學科學科課程及修業年限 一三
第三章 學年學期休業 一四

第四章　定員入學、在學及學資
第五章　退學
第六章　懲戒
第七章　卒業
第八章　服部義務
○第十六臨時教員養成所生徒學資支給規程
○第十六臨時教員養成所生徒服制内規
○職員
○生徒

一八
一九
二〇
二六
二七
二九
三〇

第十六臨時教員養成所一覽

○沿革略

昭和四年三月十九日文部省告示第百三十號ヲ以テ北海道帝國大學内ニ第十六臨時教員養成所ヲ設置セラレ博物學科ヲ置ク　官制ニ依リ北海道帝國大學總長ノ管理者トナル

長四月五日第十六臨時教員養成所規則ヲ定ム

○關係法令

臨時教員養成所官制

明治三十五年三月二十八日勅令第百號

第一條　臨時教員養成所ハ師範學校中學校及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス

第二條　臨時教員養成所ハ文部大臣ノ指定スル帝國大學高等師範學校及直轄

諸學校內ニ之ヲ置ク

第三條　臨時教員養成所ハ當該帝國大學總長高等師範學校長及直轄諸學校長ヲシテ之ヲ管理セシム

第四條　臨時教員養成所ニ教授及書記ヲ置ク

教授ハ奏任トシ各所ヲ通シ專任六人ヲ以テ定員トス生徒ノ教授ヲ掌ル

書記ハ判任トシ各所ヲ通シ專任三人ヲ以テ定員トス上官ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

臨時教員養成所管理者ハ講師ヲ囑託シ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第五條　臨時教員養成所ノ名稱ハ文部大臣之ヲ定ム

附　則

本令ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十五年三月二十九日
文部省令第八號

臨時教員養成所規程

第一條　臨時教員養成所ニハ國語漢文科英語科數學科博物科物理化學科家事裁縫科體操科家事科理科家事科歷史地理科音樂科體操科ノ一學科若ハ數學科

ヲ置ク

第二條　前條各學科ノ修業年限ハ二年乃至三年トス

第三條　國語漢文科ノ學科目ハ修身教育國語漢文言語學歷史地理英語隨意科目體操トス

第四條　英語科ノ學科目ハ修身教育英語國語及漢文言語學體操トス

第五條　數學科ノ學科目ハ修身教育數學物理簿記英語體操トス

第六條　博物科ノ學科目ハ修身教育動物植物生理及衛生鑛物及地質英語體操トス

第七條　物理化學科ノ學科目ハ修身教育物理化學數學圖畫及手工英語體操トス

第七條ノ二　家事裁縫ノ學科目ハ修身教育家事裁縫國語應用理科手藝圖畫體操トス

第七條ノ三　體操家事科ノ學科目ハ修身教育家事體操理科國語音樂トス

第七條ノ四　理科家事科ノ學科目ハ修身教育理科家事數學體操英語隨意科目トス

第七條ノ五　歷史地理科ノ學科目ハ修身、教育、歷史、地理、法制及經濟、英語、體操ト
ス
第七條ノ六　理科ノ學科目ハ修身、教育、物理、化學、動物、植物、生理及衞生、鑛物及地
質、體操、英語(隨意科目)トス
第七條ノ七　音樂科ノ學科目ハ修身、教育、唱歌、器樂(オルガン又ハピアノ)、國語、音
樂通論、和聲論、音樂史、英語(隨意科目)トス
第七條ノ八　體操科ノ學科目ハ修身、教育、體操、柔道又ハ劍道、生理及衞生、英語(隨
意科目)トス
第八條　各學科ノ修業年限及各科目ノ每週教授時數ハ管理者之ヲ定メ文部大
臣ノ認可ヲ受クヘシ
第九條　特別ノ事情アルトキハ管理者ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學科目ヲ加除
スルコトヲ得
第十條　學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル學年ハ分テ三學期ト
シ第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日マテトシ第二學期ハ九月一日ヨリ
十二月三十一日マテトシ第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日マテトス

休業日ニ關スル規程ハ管理者之ヲ定ムヘシ
第十一條　入學試驗ハ男子ニ在リテハ中學校卒業女子ニ在リテハ修業年限四
箇年ノ高等女學校卒業ノ程度ニ依リテ之ヲ行フ
但シ中學校高等女學校及師範學校ノ卒業者ニ限リ時宜ニ依リ試驗ヲ行ハサ
ルコトヲ得
第十一條ノ二　管理者ニ於テ特別ノ必要アルト認メタルトキハ文部大臣ノ認
可ヲ受ケ當分ノ中家事裁縫科ニ限リ其ノ生徒ノ一部ノ教育ヲ教員無試驗檢
定ニ關シ文部大臣ノ許可ヲ受ケタル公立又ハ私立ノ學校ニ委託スルコトヲ
得
前項委託ニ關スル細則ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ管理者之ヲ定ムヘシ
第十二條　各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及
試驗ノ成績ヲ考査シテ之ヲ定ムヘシ但シ管理者ノ見込ミニ因リ其學科目ノ
試驗ヲ行ハサルコトヲ得
第十三條　管理者ハ全學科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スヘ
シ

管理者ハ前項ノ卒業者ニ對シ教員免許狀ノ授與ヲ文部大臣ニ申請スヘシ

第十四條　管理者ハ成業ノ見込ナシト認メタル者及性行不良ナル者ニハ退學ヲ命スヘシ

第十五條　生徒ハ自己ノ便宜ニ因リ退學スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル事由ニ因リ管理者ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限リニアラス

第十六條　管理者ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十七條　臨時教育養成所ニ於テハ授業料ヲ徵收セス

第十八條　臨時教員養成所ニ於テハ入學試驗料ヲ徵收スルコトヲ得

第十九條　特別ノ必要アリト認メタルトキハ生徒ニ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

第二十條　（明治四十五年三月文部省令第八號ヲ以テ廢止）

第二十一條　左ノ各號ニ該當スルモノハ在學中補給シタル學資ヲ償還セシム但シ文部大臣ハ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

一　第十四條ニ依リ退學ヲ命セラレタル者

二　第十五條但書ニ依リ退學シタル者

高等師範學校卒業者服務規則

大正十年四月二十六日
文部省令第二十九號

第一條　本令ハ高等師範學校、女子高等師範學校、臨時教員養成所、東京美術學校圖畫師範科及東京音樂學校甲種師範科卒業者ニ適用ス

第二條　卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ左ノ期間引續キ教育ニ關スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス

一　學費ノ支給ヲ受ケタル者ハ修業年限ノ一倍半ニ相當スル期間

二　學費ノ支給ヲ受ケサル者ハ其ノ修業年限ノ二分ノ一ニ相當スル期間

前項ノ期間ハ二學科以上ヲ修メタル場合ニ於テハ通シテ八年ヲ超エス

第三條　卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ一年間文部大臣ノ指定ニ從ヒ就職スルノ義務ヲ有ス但シ前條ノ義務一年未滿ナル場合ハ其ノ期間トス

一學科ヲ卒業シタル者ニシテ更ニ他ノ學科ヲ卒業シタルモノニ在リテハ後ノ卒業證書受得ノ日ヨリ一年間前項ノ義務ヲ有ス

第四條　卒業者ニシテ特別ノ事情ニ依リ第二條ノ義務ヲ履行スルコト能ハサルモノハ其ノ理由ヲ具シ道府縣ニ在職スル者ニ在リテハ地方長官其ノ他ノ者ニアリテハ出身學校長ヲ經テ義務ノ始期ノ到達又ハ免除ヲ文部大臣ニ出願スルコトヲ得

前項ニ依リ出願シタル者アリタルトキハ地方長官又ハ學校長ハ事實ヲ審査シ意見ヲ付シテ願書ヲ進達スヘシ

第三條ノ義務ヲ猶豫又ハ免除シタル場合ニ於テ第三條ノ義務ハ之ト同時ニ猶豫又ハ免除セラレタルモノトス

第五條　卒業者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノアリタルトキハ第一條ニ掲ケタル學校ノ學校長ニ於テ文部大臣ノ指揮ヲ受ケ學資ノ支給ヲ受ケタル者ニ對シテハ授業費及在學中支給セラレタル學資學資ノ支給ヲ受ケサル者ニ對シテハ授業費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

一　第二條又ハ第三條ノ義務ヲ履行セサル者

二　服務年限中懲戒免職又ハ免許黜褫等ノ處分ヲ受ケタル者

前項授業費ノ金額ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ

第六條　卒業者ニシテ服務年限中研究科專攻科又ハ帝國大學學部等ニ入學セムトスルモノアルトキハ時宜ニ依リ許可スルコトアルヘシ

第七條　卒業者ニシテ第四條ニ依リ其ノ義務ヲ猶豫セラレタルトキ又ハ前條ニ依リ研究科專攻科若ハ帝國大學學部等ニ入學シタルトキハ其ノ猶豫又ハ在學ノ期間ハ服務年數ニ算入セス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ卒業者ニシテ未タ服務義務ヲ了ラサルモノノ服務年數ニ關シテハ本令ノ規程ニ依ル

大正九年度以前ノ入學者ニシテ從前ノ規定ニ依リ服務義務ナキモノノ服務ハ從前ノ例ニ依ル

明治四十二年文部省令第二十五號高等師範學校卒業者服務規則中略明治四十五年文部省令第八號臨時教員養成所卒業者服務規則ハ之ヲ廢止ス

○臨時教員養成所名稱及學科

名稱	學科	告示綱要
第一臨時教員養成所（東京高等師範學校內）	國語科　英語科　數學科　博物科　歷史科　漢文科　地理科　體操科	大正十一年四月文部省告示第三百四十四號ヲ以テ設置十二年四月告示第二百六十四號ニテ增置
第二臨時教員養成所（廣島高等師範學校內）	英語科　數學科　物理及化學科　博物科　歷史科　地理科　漢文科	大正十一年四月文部省告示第三百四十四號ヲ以テ設置十二年四月告示第二百六十四號ヲ以テ增置
第三臨時教員養成所（奈良女子高等師範學校內）	數學科	大正十一年四月文部省告示第三百四十四號ヲ以テ設置
第四臨時教員養成所（東京音樂學校內）	音樂科	大正十一年四月文部省告示第三百四十四號ヲ以テ設置
第五臨時教員養成所（大阪外國語學校內）	英語科　歷史科　地理科	大正十二年四月文部省告示第二百六十三號ヲ以テ設置大正十五年四月文部省告示第二百三號ヲ以テ增置

名稱	學科	告示綱要
第六臨時教員養成所（東京女子高等師範學校內）	家事科　裁縫科　家事科　理科	明治三十九年四月文部省告示第八十三號ヲ以テ設置、四十二年告示第四十號大正七年告示第二十八號十年告示第百四十二號十一年告示第二百四十五號ヲ以テ改正
第七臨時教員養成所（京都帝國大學內）	國語科　漢文科	大正十二年四月文部省告示第二百六十三號ヲ以テ設置
第八臨時教員養成所（九州帝國大學內）	數學科　理化學科	大正十二年四月文部省告示第二百六十三號ヲ以テ設置
第九臨時教員養成所（東北帝國大學內）	數學科　理化學科	大正十二年四月文部省告示第二百六十三號ヲ以テ設置
第十臨時教員養成所（第四高等學校內）	物理科　化學科	大正十二年四月文部省告示第二百六十三號ヲ以テ設置
第十一臨時教員養成所（靜岡高等工業學校內）	數學科　物理及化學科	大正十二年四月文部省告示第二百六十三號ヲ以テ設置
第十二臨時教員養成所（東京外國語學校）	英語科	大正十五年四月文部省告示第二百三號ヲ以テ設置

第十四號書式（第十條關係）	第　　號	大正十四年第二次特別年金第　　號
第十三號書式（第十條關係）	第　　號	大正十四年第二次特別年金第　　號
第十二號書式（第十條關係）	第　　號	大正十四年第二次特別年金第　　號
第十一號書式（第十條關係）	第　　號	大正十四年第二次特別年金第　　號

○第十六號書式（第十條關係）

第　　號

第一條　大正十四年第二次特別年金ノ裁定ヲ受ケタル者ニ對シ左ノ通リ年金ヲ給ス

第二條　年金ノ支給ハ毎年四月十日及十月十日ニ其ノ半額ヲ支給ス

第三條　年金ノ支給ハ左ノ者ニ之ヲ爲ス

番號	第一條	第二條	第三條
一	氏名	氏名	氏名
二	住所	住所	住所
三	年齢	年齢又ハ生年月日	年齢又ハ生年月日
四	本籍		本籍
五	職業	職業又ハ勤務先	職業又ハ勤務先
六	勲等	勲等	勲等
七	功級	功級	功級
八	勲記ノ年月日	勲記ノ年月日	勲記ノ年月日
九	勲記ノ番號	勲記ノ番號	勲記ノ番號
十	年金額	年金額	年金額
十一	年金ノ裁定ノ年月日	年金ノ裁定ノ年月日	年金ノ裁定ノ年月日
十二	年金ノ裁定ノ番號	年金ノ裁定ノ番號	年金ノ裁定ノ番號
十三	備考	備考	備考

心理											
管學											
體操教練											
計	實驗五回	一九									
	實驗五回	二〇	第一學期	體操教練	三	管學教論	二	心理學	二		
	實驗五回	一九			三						

第三章　學年、學期、休業

第五條　學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第六條　學年ヲ左ノ三學期ニ分ツ

第一學期　四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二學期　九月一日ヨリ翌年一月七日ニ至ル

第三學期　一月八日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第七條　休業日ハ左ノ如シ

春期休業　四月一日ヨリ同七日ニ至ル

夏期休業　七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル

冬期休業　十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ル

日曜日及左ノ祭日祝日

天長節　四月二十九日

秋季皇靈祭　秋分日

神嘗祭　十月七日

明治節　十一月三日

新嘗祭　十一月二十三日

北海道帝國大學記念日　二月六日

紀元節　二月十一日

春季皇靈祭　春分日

第四章　定員、入學、在學及學資

第八條　本所生徒ノ定員ハ凡ソ九十名トス、內若干名ハ給費生トス

第九條　本所ニ於テハ授業料ヲ徵收セス

第十條　入學期ハ學年ノ始トス、但シ時宜ニヨリ生徒ヲ募集セザルコトアルヘシ

第十一條　生徒ハ左ノ資格ヲ有シ出身學校長ノ證明ニ依リ品行方正、身體健全、

志操堅固ニシテ將來教員タルニ適當ナリト認ムル者ニ就キ試驗ノ上管理者之ヲ選拔ス

但シ第二項該當者中出身學校ヲ有セザル者ハ簡拔ヲ要セス

一、師範學校、中學校ノ卒業者

二、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗規程ニ合格シタル者及一般專門學校入學ニ關シ無試驗檢定ヲ受クル資格ヲ有スル者並ニ小學校本科正教員免許狀所有者

第十一條　入學志願者ハ左ノ書類ヲ本所ニ差出スヘシ

一、出身學校長ノ履歷書（書式第一號）

一、入學願書（書式第二號）

一、履歷書（書式第三號）

一、戸籍謄本

一、寫眞（手札型半身肥前提出前三ケ月以內ニ撮影シタルモノヲ要シ之ヲ願書ニ貼付シ裏面ニ志望學科氏名ヲ記入スヘシ）

一、地方長官ノ承認書（現ニ官職ニ在ル者又ハ職務義務年限中ノ者、並ニ現ニ在學セル學校卒業後服務義務ヲ生スル者ニ限リ之ヲ要ス）

第十三條　入學試驗ハ左ノ科目ニ付キ之ヲ行フ

國語及漢文

英　語

數　學（代數、幾何）

博　物（動物、植物）

第十四條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ直チニ保證人二名ヲ定メ誓約書（書式第四號）ヲ差出スヘシ

保證人ノ內一名ハ公民權ヲ有スル者若クハ丁年以上ノ男子ニシテ所得稅ヲ納ムルモノタルヘク其他ノ一名ハ一戸ヲ構ヘタル丁年以上ノ男子ニシテ本人ト親族關係アルモノタルヘシ

但シ親族ナキモノハ身許引受人ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

管理者ニ於テ前項ノ保證人ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ換ヘシムルコトアルヘシ

第十五條　保證人中死亡シ若クハ其資格ヲ失ヒタル者アリタルトキハ直チニ之ヲ補充シ前保證人連署ノ上届出ツヘシ

第十六條　族籍又ハ氏名ヲ變更シタルトキハ戸籍抄本ヲ添ヘ其旨直チニ届出

ツヘシ

第十七條　病氣又ハ已ムヲ得サル事故アリテ遲刻シタルトキ若クハ早退セントスルトキ其事由ヲ詳記シ速ニ届出ツヘシ引續キ一週間以上缺席セントスルトキハ日數ヲ定メ豫メ届出ツヘシ

但シ疾病ニ係ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第十八條　疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニ依リ引續キ六十日以上修業シ能ハストス思料スルモノハ其疾病ニ係ルトキハ醫師ノ診斷書事故ニ係ルトキハ詳細ナル事由書ヲ添ヘ願書ヲ差出スヘシ

第十九條　學資ハ生徒ノ希望ニ基キ學力及履歷ヲ考査シ相當ト認メタル者ニ對シ年額三百圓ヲ支給ス

學資支給ニ關スル規則ハ別ニ之ヲ定ム

第五章　退學

第二十條　左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ退學ヲ命ス

一、屢々懲戒退缺席スル等出席不規律ナルトキ

二、成業ノ見込ナシト認メタルトキ

三、各學年ニ於テ成績不良ノ爲メ進級シ能ハサルトキ

第二十一條　疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニ依リ退學セントスルトキハ其ノ疾病ニ係ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ事故ニ係ルモノハ事由ヲ詳記シ保證人連署ノ上願出ツヘシ

第六章　懲戒

第二十二條　本所ノ規則命令又ハ示達ニ悖戻シ若クハ風紀ヲ素ス等ノ行爲アリタルトキハ其情狀ニ依リ左ノ懲戒ニ處ス

一、譴責

二、停學

三、除名

第七章　卒業

第二十三條　生徒ハ第一學年ヨリ順次第三學年ニ至ル課程ヲ履修スヘシ各學年ノ及落ハ該學年間ニ於ケル平素ノ學業及試驗ノ成績ヲ考査シテ之ヲ決定ス

但シ管理者ノ見込ニ依リ一部學科ノ試驗ヲ行ハサルコトアルヘシ

第二十四條　卒業者ニ對シテハ卒業證書ヲ授與ス

第八章　服務義務

第二十五條　卒業ハ卒業證書受領ノ日ヨリ左ノ期間引續キ教育ニ關スル職務ニ從事スル義務ヲ負フ

一、學費ノ支給ヲ受ケタル者ハ修業年限ノ一倍半ニ相當スル期間

二、學費ノ支給ヲ受ケサル者ハ修業年限ノ二分ノ一ニ相當スル期間

右ノ內最初ノ一ケ年ハ文部大臣ノ指定ニ從ヒ奉職スル義務アルモノトス

第二十六條　前條ノ外服務ニ關シテハ大正十年四月文部省令第二十九號高等師範學校等卒業者服務規則ニ依ル

（書式第一號）

願　書

何　某

右者貴所入學志願ノ處教員タルニ適良ノ者ト被認候ニ付別紙學業成績並ニ人物考査表相添ヘ此段願書候也

年　月　日

何々學校長　氏　　名印

第十六臨時教員養成所管理者
北海道帝國大學總長　爵　氏　名殿

何　某

學年	修身	國語							各學年ノ通約	各學年ノ席次	人物考査
第一學年									人員	人	

右證明候也

年　月　日

何々學校長　氏　　名印

（注意）人物考査ハ品行、性質、志操、學藝、長所及短所等ヲ記載スルコト

（書式第二號）

入學願書（用紙美濃紙）

志望科科

給費　希望（私費ニテモ可ナリ、又希望セス）

私儀第十六臨時教員養成所生徒トシテ入學致度ニ付書類相添ヘ此段願出候也

年　月　日　現住所　何　某㊞

第十六臨時教員養成所管理者
北海道帝國大學總長　爵　氏　名殿

（第式第三號）

履歴書

原籍　族稱（寄留者ハ寄留届ヲ併記スヘシ）

戸主　何某何男或ハ弟等

現住所

生所

一、卒業證書、免許狀、試驗檢定合格證書
何年何月何日道廳府縣郡市町村（私立）何學校ニ於テ何學科卒業證書ヲ受ク等（證書寫ヲ添フヘシ）

一、學業
何年何月何日ヨリ何年何月何日マデ何所何某ニ就キ何學科ヲ修業ス等

一、職業
何年何月何日道廳府縣何々小學校訓導拜命
何年何月何日依願免官或ハ現今在勤等

一、賞罰
賞ハ特ニ著シキモノニ限リ書スヘシ

一、兵役關係
右之通リ相違無之候也

（假名ヲ付スヘシ）

何　某

生年月日

（書式第四號）

參錢收入印紙貼用

誓約書

私儀今般御所生徒トシテ入學御許可相成候ニ付テハ在學中御規則ヲ遵守スヘキハ勿論卒業後ニ在リテハ高等師範學校等卒業者服務規則ヲ服膺可致候也

年　月　日

本籍
住所　何　某㊞

右

前書之通相違無之仍テ本人身上ヨリ相認リ候事件ニ關シテハ抽者共一切引受可申候也

年　月　日

（親名ヲ付スヘシ）

本籍
住所　何　某㊞
職業及　生年月日
本人トノ關係　親族（又ハ身許引受人）

保證人

本籍
住所　何　某㊞
職業及
本人トノ關係

保證人

本籍
住所　何　某㊞
職業及
本人トノ關係

第十六臨時教員養成所管理者
北海道帝國大學總長　閣　氏　名殿

追テ保證人向後轉住改印等ノ異動ヲ生シタル場合ニ於テハ速カニ御屆可申候也

前書保證人何某ハ　公民權ヲ有スル者　丁年以上ニシテ所得稅ヲ納ムル者　ニ相違無之候也

年　月　日

何市町村長　何　某　㊞

前書保證人何某ハ丁年以上ニシテ當市町村内ニ居住シ一戸ヲ構ヘ家計ヲ立ツル者ニ相違無之候也

年　月　日

何市町村長　何　某　㊞

○第十六臨時教員養成所生徒學資支給規程

第一條　本所規則第十九條ニ規定スル學資ハ本規程ニ依リ之ヲ支給ス

第二條　學資ハ入學ノ月ヨリ退學又ハ卒業ノ月迄月額金貳拾五圓ヲ支給ス

但シ懲戒ニ依リ退學ヲ命セラレタル者ニハ當月分ヲ支給セス

第三條　學資ハ當月分ヲ翌月十日迄ニ支給ス

但シ卒業當月ニ限リ卒業ノ日迄ニ支給ス

第四條　停學期間中ハ學資ノ支給ヲ停止シ其ノ停止ノ月ハ日割ヲ以テ支給ス

○第十六臨時教員養成所生徒服制内規

第一條　本所生徒ノ服裝ヲ左ノ通定ム

一、制服

制式　立襟背廣形（第一號圖式）

色　黒色

釦　金釦　徑六分、櫻章ヲ附ス　銅釦　一行五個

標章　左側ニ金文字Nヲ付ス

二、制帽

制式　海軍形、周圍ニ黒色リボンヲ纏フ

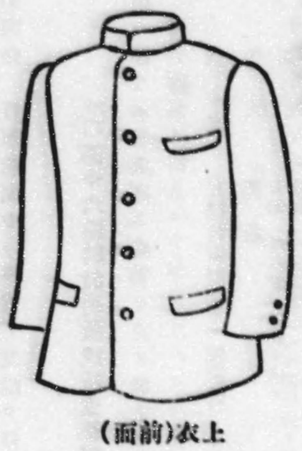
色　黒色

徽章　金色「教」字ヲ北大ノ二字ニテ圍メルモノ（第二號圖式）竪九分横七分

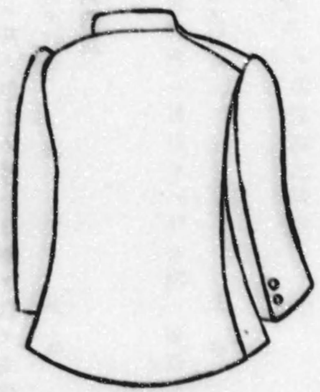
三、靴　黑色編上ケ又ハ短靴

第二條　生徒登校ノ際必ス制規ノ服裝ヲナスヘシ已ムヲ得ス和服ヲ着用セントスルトキハ管理者ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第一號圖式



上衣（前面）



（面背）

第二號圖式（帽章）

○職員

管理者	北海道帝國大學總長	佐藤昌介
主事	北海道帝國大學敎授	高岡熊雄
敎務主任	同	伊藤誠哉
生徒主事	北海道帝國大學農科敎授	新庄嶺
事務主任	北海道帝國大學事務官事務取扱	根本通美

講師

動物	北海道帝國大學敎授	小熊捍
植物	同	坂村徹
敎育	北海道帝國大學農科敎授	羽島又次郎
修身	同	藤原正
動物	同	新庄嶺
植物	同	鈴木隈三
英語	同	廣橋浩

鑛物及地質	北海道帝國大學助教授	上床國夫
心理	北海道帝國大學豫科教授	清水榮長

事務囑託

北海道帝國大學書記	渡部慶太郎
同	及川兵吉
同	富山保治

實驗補助

北海道帝國大學農學部講師	林 禎次郎
北海道帝國大學工學部副手	澤田鶴松
北海道帝國大學豫科助教授	山口英二
北海道帝國大學雇	淺地清三

○生徒

第一學年

服部一男(三重)　林　三雄(三重)　岩田健一(北海)　桜川誠以逸(北海)
金森久和(北海)　金子喜夫(北海)　加藤　勇(北海)　北　三郎(富山)
北崎永利(福岡)　熊谷三郎(北海)　小林　裕(北海)　河野有三(北海)
牧野　武(栃木)　三浦喜一(北海)　水野正之(愛知)　西川謙光(兵庫)
西田影一(東京)　押味賢三(北海)　佐藤正之(北海)　園木文平(北海)
末松　梧(廣島)　鈴木　要(北海)　高橋義士(高知)　留目金治(北海)
豐福　毅(北海)　卜部生一(北海)　矢田　正(北海)　柳田十九男(熊本)
山田義雄(北海)　吉岡信義(福岡)

生徒府縣別調 (昭和四年五年末日現在)

府縣別	北海道	栃木	東京	富山	三重	愛知	兵庫	廣島	高知	福岡	熊本	計
	一九	一	一	一	二	一	一	一	一	一	一	三〇

昭和四年度入學志願者及入學者出身學校別

	中卒	商卒	農卒	師卒	檢定	私立大學豫科一年了	計
志願者	一二四	二	三	一一	五	一	一四六
入學者	二六	一	一	一	一	—	三〇

主要市勢調（昭和四十五年十月一日現在）

市名	人口	世帯数	人口密度
札幌市	一、〇七五、九六七	三二四、三一一	一七・一

昭和五十一年一月十日印刷
昭和五十一年一月十五日発行

北海道市町村図

北海道市町村大鑑

印刷者　八　木　一　男
　　北海道札幌市北一条西三丁目三番地

印刷所　株式会社　三協印刷紙工
　　北海道札幌市北一条西三丁目三番地
　　電話〇七五（二六）一三六一番

発行所　北海道新聞社
　　北海道札幌市北一条西一丁目三丁目
　　電話三五七・五八五五番

同　　北海道新聞社
　　北海道札幌市北一条西四丁目
　　電話大三三一番

同　　北海道新聞社出版局
　　北海道札幌市北八条西四丁目
　　電話大七八一番

281
JAN
18